

---

# NX7700x/A5010E-2 シリーズ

## ファームウェア更新ガイド

(オフライン版、**Starter Pack** 利用)

---

2026 年 1 月 第 14 版  
© NEC Corporation 2020-2026

# 目次

目次.....	2
1. はじめに .....	4
2. 本書について.....	4
2.1. 本文中の記号について.....	4
2.2. 注意事項 .....	4
3. 準備 .....	8
3.1. 事前確認 .....	8
4. 接続 .....	9
5. 装置コンソール接続方法.....	10
5.1. iLO WEB インターフェース接続方法 .....	10
5.2. リモートコンソール接続方法 .....	13
5.3. STARTER PACK のマウント方法 .....	15
6. ファームウェア更新手順.....	17
6.1. 【ケース 0A】事前ファームウェア更新手順.....	44
6.2. 【ケース 0B】事前ファームウェア更新手順.....	55
6.3. 【ケース P】追加ファームウェア更新手順.....	66
6.4. 【ケース Q】追加ファームウェア更新手順 .....	77
6.5. 【ケース R】追加ファームウェア更新手順.....	89
6.6. 【ケース S】追加ファームウェア更新手順 .....	100
7. トラブルシューティング .....	111
7.1. [TS-001] 「YOUR CONNECTION IS NOT SECURE」エラーが起きる .....	111
7.1.1. 現象.....	111
7.1.2. 対処.....	111
7.2. [TS-002] (FIRMWARE-NIC-INTEL- ...) パッケージのファームウェア更新がエラーする .....	112
7.2.1. 現象.....	112
7.2.2. 対処.....	112
7.2.2.1. 対処手順 .....	112
8. 付録.....	124
8.1. ファームウェアバージョン確認方法 .....	124
8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法.....	124
8.2. リモートコンソール及び仮想メディア .....	126
8.2.1. .NET リモートコンソール (.NET IRC) の使い方 .....	126
8.2.1.1. コンソールの起動 .....	126
8.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法.....	126
8.2.1.3. 本体装置の電源制御方法 .....	127
8.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い方.....	129
8.2.2.1. コンソールの起動 .....	129
8.2.2.2. 仮想メディアのマウント方法.....	129
8.2.2.3. 本体装置の電源制御方法 .....	130
8.2.3. Java 統合リモートコンソール (Java IRC) の使い方 .....	132
8.2.3.1. コンソールの起動 .....	132
8.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法.....	132
8.2.3.3. 本体装置の電源制御方法 .....	133

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止されております。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2020-2026

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。

## 1. はじめに

このたびは、NX7700x/A5010E-2 シリーズ製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本書は、NX7700x/A5010E-2 シリーズ製品向けの文書となります。




## 2. 本書について

本書は、対象本体装置の Starter Pack を使って、対象本体装置にインストールされているファームウェアをオフラインで更新するための手順です。

対象製品 (本体装置)	NX7700x/A5010E-2、A5010E-2 v2
ファームウェア更新作業時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>Starter Pack (S8.80-005.01) を使用される場合 大凡 6 時間 15 分 (1 本体装置あたり)</li> <li>Starter Pack (S8.80-002.02、S8.80-003.01、S8.80-003.02、或いは S8.80-004.01) を使用される場合 大凡 5 時間 30 分 (1 本体装置あたり)</li> <li>Starter Pack (S8.80-005.03) を使用される場合 大凡 4 時間 45 分 (1 本体装置あたり)</li> <li>Starter Pack (S8.80-005.05、或いは S8.80-005.10 以上) を使用される場合 大凡 4 時間 00 分 (1 本体装置あたり)</li> <li>上記以外の Starter Pack を使用される場合 大凡 3 時間 15 分 (1 本体装置あたり)</li> </ul>

### 2.1. 本文中の記号について

本書では、下記 3 種類の記号を使用しています。  
これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。

 重要	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
 チェック	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。

また、本文中に掲載している画面イメージは一例であり、対象製品の構成及びご使用 Starter Pack に依り若干異なる場合がありますが、操作する上で支障のない差異ですので、予めご承知おきください。

### 2.2. 注意事項

本書記載手順でのファームウェア更新に係る注意事項を記載します。

#### [注意事項 01]

本書記載手順でファームウェアを更新した場合、システムユーティリティの設定(BIOS/Platform)及び iLO5 の設定が変更される場合があります。


そのため、本書記載手順でファームウェアを更新した後、対象製品(本体装置)の最新ユーザーズガイドにおける下記章を参照しながら、システムユーティリティの設定(BIOS/Platform)及び iLO5 の設定を確認するとともに、必要に応じて再設定してください。

- 3 章 「2.4 設定が必要なケース」
- 3 章 「3.4 iLO 5 のその他設定」

対象製品(本体装置)の最新ユーザーズガイドは、web サイト <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/> に掲載しています。

#### [注意事項 02]


「[NE3316-51]SAS エキスパンダカード」搭載装置に対して、Starter Pack (S8.80-005.05 未満) を使ってファームウェア更新する場合、Starter Pack (S8.80-005.05) も必要になりますので、予め準備してください。

 ヒント	Starter Pack (S8.80-005.05 未満) を使ってファームウェア更新する際、「[NE3316-51]SAS エキスパンダカード」のファームウェアについては、Starter Pack (S8.80-005.05 未満) に収録されているファームウェアは使用せず、代わりに、Starter Pack (S8.80-005.05) に収録されているファームウェアを使用します。
--	---

#### [注意事項 03]

下記いずれかのオプション製品搭載装置に対して、Starter Pack (S8.80-005.01) を使ってファームウェア更新する場合、Starter Pack (S8.80-004.01) も必要になりますので、予め準備してください。


<ul style="list-style-type: none"> <li>• [NE3304-172] 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)</li> <li>• [NE3304-175] 10GBASE-T 接続 LOM カード(2ch)</li> <li>• [NE3304-176] 10GBASE-SFP 接続 LOM カード(2ch)</li> <li>• [NE3304-180] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)</li> <li>• [NE3304-181] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)</li> <li>• [NE3304-184] 10GBASE-T 接続ボード(2ch)</li> <li>• [NE3304-186] 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch)</li> </ul>
--

 ヒント	Starter Pack (S8.80-005.01) を使ってファームウェア更新する際、上記オプション製品のファームウェアについては、Starter Pack (S8.80-005.01) に収録されているファームウェアは使用せず、代わりに、Starter Pack (S8.80-004.01) に収録されているファームウェアを使用します。
--	--

#### [注意事項 04]

下記いずれかのオプション製品搭載装置に対して、Starter Pack (S8.80-005.03 未満) を使ってファームウェア更新する場合、Starter Pack (S8.80-005.03) も必要になりますので、予め準備してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• [NE3390-163] Fibre Channel コントローラ(1ch)</li> <li>• [NE3390-164] Fibre Channel コントローラ(2ch)</li> <li>• [NE3390-171] Fibre Channel コントローラ(1ch)</li> <li>• [NE3390-172] Fibre Channel コントローラ(2ch)</li> </ul>
--

 ヒント	Starter Pack (S8.80-005.03 未満) を使ってファームウェア更新する際、上記オプション製品のファームウェアについては、Starter Pack (S8.80-005.03 未満) に収録されているファームウェアは使用せず、代わりに、Starter Pack (S8.80-005.03) に収録されているファームウェアを使用します。
--	--

#### [注意事項 05]

下記条件を全て満たす場合、Starter Pack (S8.80-005.05) も必要になりますので、予め準備してください。

##### ■条件

- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。

- [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-197] SAS コントローラ

- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「**5.32 未満**」である。



ファームウェアバージョンの確認方法は、  
 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。



上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「**5.61 以上**」を適用します。

但し、バージョン「**5.61 以上**」への更新には、下記制約があります。

**[制約]** バージョン「**5.61 以上**」への更新は、バージョン「**5.32 以上**」からのみ可能。  
 バージョン「**5.32 未満**」からは不可。

即ち、バージョン「**5.32 未満**」から「**5.61 以上**」へ更新する場合は、  
**{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上}** と2段階で更新しなければなりません。

そして、その第1段階の **{5.32 未満 → 5.32}** へ更新する際、**Starter Pack (S8.80-005.05)** が  
 必要になります。

#### [注意事項 06]

下記条件を全て満たす装置に対して、**Starter Pack (S8.80-005.08 未満)** を使ってファームウェア更新する場合、**Starter Pack (S8.80-005.08)** も必要になりますので、予め準備してください。

#### ■条件

- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。

- [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)
- [NE3303-197] SAS コントローラ

- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「**5.61 未満**」である。



ファームウェアバージョンの確認方法は、  
 <8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。



**Starter Pack (S8.80-005.08 未満)** を使ってファームウェア更新する場合、  
 上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「**5.61**」を適用します。

但し、バージョン「**5.61 以上**」への更新には、下記制約があります。

**[制約]** バージョン「**5.61 以上**」への更新は、バージョン「**5.32 以上**」からのみ可能。  
 バージョン「**5.32 未満**」からは不可。

即ち、バージョン「**5.32 未満**」から「**5.61 以上**」へ更新する場合は、  
**{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上}** と2段階で更新しなければなりません。

そして、その第2段階の **{5.32 → 5.61}** へ更新する際、**Starter Pack (S8.80-005.08)** が必要  
 になります。


(参考) **Starter Pack (S8.80-005.08)** に、バージョン「**5.61**」が収録されています。


#### [注意事項 07]

下記条件を全て満たす装置に対して、**Starter Pack (S8.80-005.10 以上)** を使ってファームウェア更新する場合、**Starter Pack (S8.80-005.09)** も必要になりますので、予め準備してください。

#### ■条件

<p>- 下記いずれかの本体装置、或いは、下記いずれかの NIC オプション製品を装置搭載している。</p>	
<p>&lt;本体装置&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y</li> </ul>	
<p>(備考) Mother Board 内蔵 NIC 装備の本体装置</p>	
<p>&lt;NIC オプション製品&gt;</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>[NE3304-171] 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)</li> <li>[NE3304-178] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)</li> <li>[NE3304-179] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)</li> </ul>	
<p>- 上記本体装置 Mother Board 内蔵 NIC、或いは、上記 NIC オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>20.27.42 未満</b>」である。</p>	

	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、 &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p>
---	---

	<p>上記本体装置 Mother Board 内蔵 NIC、及び、上記 NIC オプション製品のファームウェアに関して、 <b>Starter Pack (S8.80-005.10 以上)</b> を使ってファームウェア更新する場合、予め、当該ファームウェアバージョンを「<b>20.27.42 以上</b>」にしておく必要があります。</p> <p>即ち、当該ファームウェアの現バージョンが「<b>20.27.42 未満</b>」である場合、一旦、「<b>20.27.42</b>」に更新する必要があります。</p> <p>この「<b>20.27.42 未満</b> → <b>20.27.42</b>」へ更新する際、<b>Starter Pack (S8.80-005.09)</b> が必要になります。</p> <p>(参考) <b>Starter Pack (S8.80-005.09)</b> に、バージョン「<b>20.27.42</b>」が収録されています。</p>
---	--

#### [注意事項 08]

本書記載手順でファームウェア更新した場合、ブートデバイス順序が変わる可能性があり、その結果として、OS 起動不可、または OS 起動に時間がかかるようになる場合があります。

そこで、本書記載手順でファームウェア更新した後、下記手順にて、ブートデバイス順序を確認すると共に、起動したいブートデバイスを最上位に移動させてください。


#### [ブートデバイス順序確認/変更方法]




<ol style="list-style-type: none"> <li>対象本体装置の電源を ON し、POST 起動中(Function Key 案内表示後)に&lt;F9&gt;キーを押下し、<b>System Utilities</b> を起動します。</li> <li><b>System Utilities</b> において、{System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Boot Options → UEFI Boot Settings → UEFI Boot Order}へと進みます。</li> <li>「UEFI Boot Order」画面において、起動したいブートデバイスが最上位に位置していることを確認します。 もし最上位に位置していないならば、最上位に移動させます。</li> <li>&lt;F10&gt;(Save)キーを押下します。</li> <li>&lt;Esc&gt;キーを数回押下し、<b>System Utilities</b> トップ画面まで戻り、『Reboot the System』を選択し、対象本体装置を再起動します。</li> </ol>
--

## 3. 準備

本作業では、対象本体装置以外に下記物品が必要となりますので、予めご準備ください。

Table 3-1 必要となる物品

物品	数量	備考
端末パソコン	1	本体装置に接続し、本体装置を操作するために使用します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">            ご使用になる Starter Pack ファイル(iso ファイル)を、予め当該端末パソコンのローカルディスクに収録しておいてください。         </div>
ディスプレイ	1	本体装置に接続し、本体装置の画面として使用します。
LAN ケーブル	1	本体装置と端末パソコンを接続するために使用します。

 <b>ヒント</b>	<p>既に、本体装置のマネージメント専用 LAN コネクタ(  )を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されており、且つ下記物品或いは情報をご存じである場合、前記&lt; Table 3-1 必要となる物品 &gt;は不要です。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>- iLO Web インターフェースにアクセスする端末</li> <li>- iLO Web インターフェースの User Name と Password</li> <li>- iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレス</li> </ul> <hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">            ご使用になる Starter Pack ファイル(iso ファイル)を、予め iLO Web インターフェースアクセス端末のローカルディスクに収録しておいてください。         </div>
---	--

### 3.1. 事前確認

#### [事前確認 01]

本書記載 FW 更新手順では、Secure ブートに対応していません。  
 よって、本体装置の Secure ブートが有効になっている場合には、一旦無効に変更して頂き、FW 更新作業終了後に有効に戻してください。

Secure ブートの現在の設定値は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Current Secure Boot State}で確認できます。

Secure ブートの変更は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Attempt Secure Boot}で行えます。

#### [事前確認 02]

IO 系デバイスにケーブル(\*a)などが接続されている場合、それらケーブル(\*a)接続状態を記録した上で、当該ケーブル(\*a)を取り外してください。そして、FW 更新作業終了後に、それらケーブル(\*a)を元の接続状態に戻してください。

(\*a) 本体装置内蔵 SAS ケーブルは対象外

[事前確認 03]

IO 系デバイスの PCIe Option ROM が"Disabled"に設定されている場合、IO 系デバイスの FW version を確認できない場合があります ("N/A"と表示される)。

その場合には、当該 IO 系デバイスの PCIe Option ROM 設定を一旦"Enabled"に変更して頂き、FW 更新作業終了後に"Disabled"に戻してください。

PCIe Option ROM 設定は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → PCIe Device Configuration → <PCIe デバイス (\*a)>}で行えます。

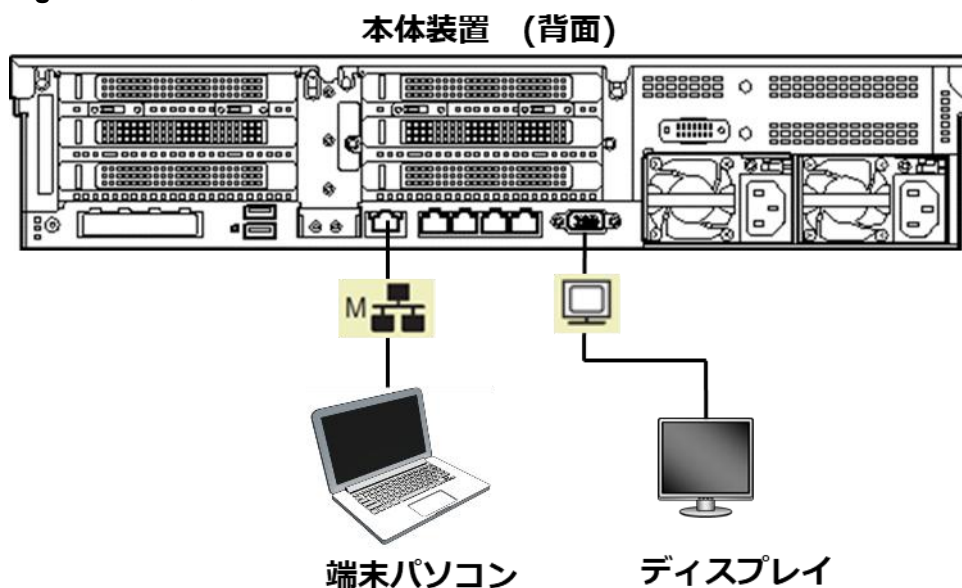
(\*a) PCIe Option ROM Disabled 設定時、PCIe デバイス表記は下表の通りになります。

モジュール	PCIe デバイス表記 (Option ROM Disabled 時)
RAID/SAS Controller	Storage Controller
NIC/LOM	Network Controller
FC Controller	PCIe Controller
SAS Expander	

## 4. 接続

ご準備頂いた物品を下図のとおり本体装置に接続します。

Figure 4-1 接続図



**重要** 端末パソコンと本体装置は、LAN ケーブルで直結させてください。

**ヒント** 既に、本体装置の管理専用 LAN コネクタ( M )を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されている場合、そのままの接続環境で構いません。

## 5. 装置コンソール接続方法

本書記載のファームウェア更新手順では、本体装置に接続した端末パソコンから本体装置の iLO Web インターフェース及び本体装置のリモートコンソールに接続して更新作業を行います。

また、本体装置内 iLO のリモートメディア機能を使って、**Starter Pack** を本体装置にマウントして更新作業を行います。

ここでは、iLO Web インターフェース接続方法、リモートコンソール接続方法、及び **Starter Pack** のマウント方法を記載します。

### 5.1. iLO Web インターフェース接続方法

#### [step.a-01] iLO Web インターフェースへの接続情報の確認

##### A. iLO Web インターフェースの User Name と Password の確認

本体装置前面のスライドタグにある iLO ライセンスシール中に記載されている「User Name」と「Password」を控えます。



既に、iLO Web インターフェースの User Name と Password をご存じである場合、本作業は不要です。

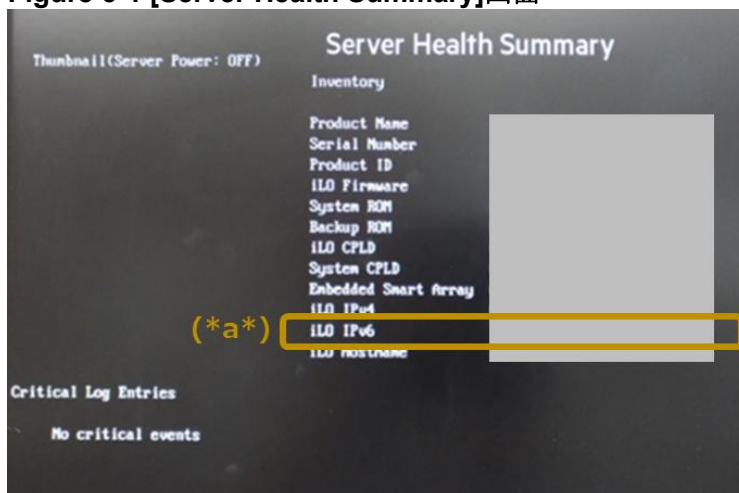






以降の作業で、この User Name と Password が必要になります。

##### B. iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)の確認

- ① 本体装置の電源コードをコンセントに取り付けます。
- ② **Server Health Summary** 画面をディスプレイに表示させます。  
具体的には、前記①の後、本体装置前面の **POWER** ランプがアンバー色に点灯していることを確認した上で、**UID** スイッチを押します。  
そうすると、ディスプレイに下図画面が表示されますので、下図(\*a\*)箇所の「iLO IPv6」のアドレスを控えます。

Figure 5-1 [Server Health Summary]画面



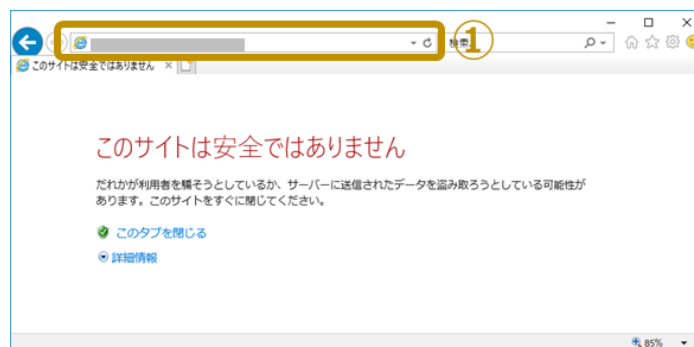
 ヒント	<p>既に、iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスをご存じである場合、本作業は不要です。</p>
 ヒント	<p>IPv6 の仕様として、セクションが"0"で始まる場合、"0"を省略して表示しても良いことになっています。</p> <p>そのため、表示される IPv6 アドレスの各セクションが 4 桁ではない場合があります。その際は、各セクションが 4 桁となるように、セクションの先頭に"0"を付加して控えてください。</p> <p>(例) 表示値: fe80::9618:82ff:fe71:2b4 控え値: fe80::9618:82ff:fe71:02b4</p>
 ヒント	<p>前記①の後、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯していた場合、本体装置の電源が ON されています。</p> <p>その場合は、POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF します (スタンバイ状態にします)。</p> <p>本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。</p>
 ヒント	<p>以降の作業で、この IPv6 アドレスが必要になります。</p>

## [step.a-02] iLO Web インターフェースへの接続とログイン

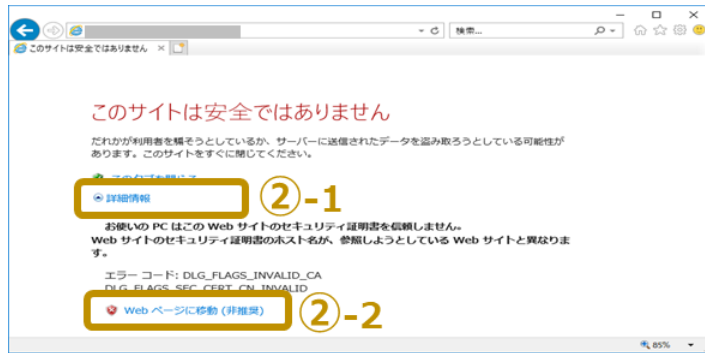
### A. iLO Web インターフェースへの接続

- ① 端末パソコンにて Web ブラウザ (Internet Explorer 等) を起動し、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの IP アドレス、または、既知な iLO Web インターフェースの IP アドレスをアドレスバーに入力します。

例) `https://[abcd::efgh:ijkl:mnop:qrst]/`



- ② セキュリティ警告が表示された場合は、「詳細情報」をクリックした後、「Web ページに移動(非推奨)」をクリックしてください。



## B. iLO Web インターフェースへのログイン

iLO Web インターフェースに接続できると下記画面が表示されますので、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの **User Name** と **Password** を①箇所に入力し、「ログイン」ボタンを押します。



ログインに成功すると、下記画面に切り替わります。



## 5.2. リモートコンソール接続方法

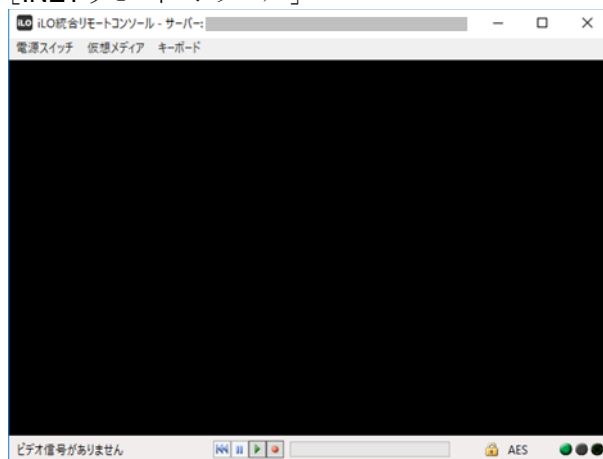
### [step.b-01] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。



.NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

#### [.NET リモートコンソール]



「.NET リモートコンソール」が起動しない場合、下記何れかの対処を行ってください。

#### [対処 A]

「iLO5 ユーザーズガイド」を参照して、.NET リモートコンソール(.NET IRC)に係る要件、トラブルシューティング等を確認し、端末パソコン及び端末パソコン上で起動している web ブラウザを適切に設定する。

#### [対処 B]

Microsoft Edge にて iLO Web インターフェースに接続している場合、Microsoft Edge を下記の通り設定し、Microsoft Edge を再起動させた後、再度 iLO Web インターフェースに接続する。

	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ブラウザで以下に移動する。 <b>edge://settings/content/insecureContent</b></li><li>2. [許可]において、[追加]をクリックする。[サイトの追加]ダイアログが開きます。</li><li>3. [サイトの追加]ダイアログに、<b>iLO Web</b> インターフェースの IP アドレスを入力し、[追加]をクリックする。 (IPv6 アドレス入力例) [aaaa::bbbb:cccc:dddd:eeee]</li></ol> <p>[対処 C] Microsoft Edge(IE モード)にて、iLO Web インターフェースに接続する。</p> <p>[対処 D] 「HTML5 統合リモートコンソール」或いは「Java 統合リモートコンソール」を起動させる。 当該リモートコンソールの起動方法は、&lt;8.2 リモートコンソール及び仮想メディア&gt;を参照ください。</p>
--	--

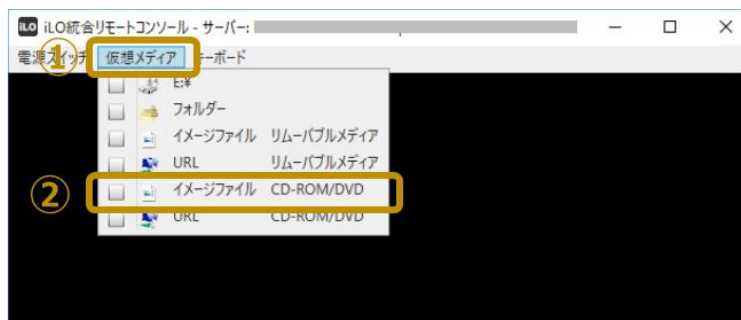
## 5.3. Starter Pack のマウント方法

### [step.c-01] Starter Pack のマウント

本体装置から Starter Pack ファイル(iso ファイル)が見えるようにします。

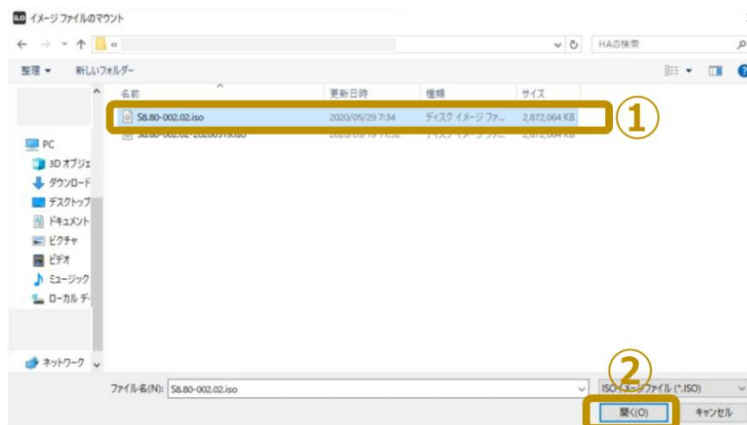
#### A. 仮想メディアの選択


リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD]を選択します。



#### B. Starter Pack ファイルのマウント

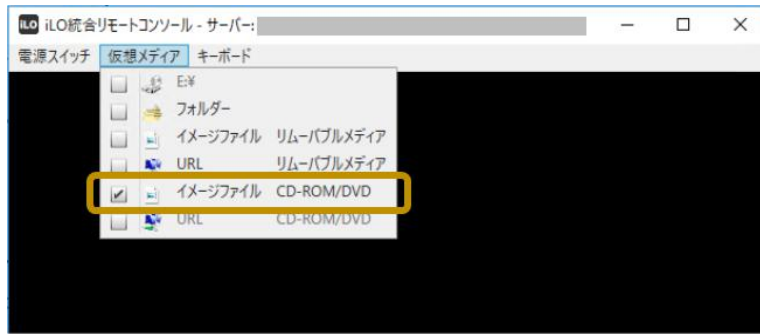
ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、予め端末パソコン内に収録しておいた Starter Pack ファイル(iso ファイル)を選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。



 **ヒント** 上記「開く(O)」ボタン(②)をクリックしてからファイルマウントされるまで、約 1 分ほどかかります。





#### C. Starter Pack ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。



## 6. ファームウェア更新手順

本体装置にインストールされているファームウェアの更新方法を記載します。

	<p>本作業を行う前に、本体装置の電源が <b>OFF</b> になっていることを確認してください。          具体的には、本体装置正面の <b>POWER</b> ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。</p>
	<p>本ファームウェア更新手順の下記手順には、操作時間制約(10 秒以内)があります。          よって、予め、どのような操作時間制約なのかをご確認頂いた上で、ファームウェア更新を開始してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- [step.1-07] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.2-05] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.0a-07] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.p-07] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.q-07] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.r-07] Starter Pack の起動</li> <li>- [step.s-07] Starter Pack の起動</li> </ul>
	<p><b>POWER</b> ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。</p> <p><b>POWER</b> ランプが緑色に点滅或いは点灯している場合、本体装置の電源が <b>ON</b> されています。  <b>POWER</b> スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を <b>OFF</b> してください(スタンバイ状態にしてください)。          本体装置の電源が <b>OFF</b> されると、<b>POWER</b> ランプがアンバー色に点灯します。</p>
	<p>本体装置の <b>Mother Board</b> に収録される <b>Sytem ROM</b> は 2 バンク構成になっています。          そのため、再起動を跨いで <b>FW 更新</b> を 2 回実施する必要があります。          { <b>FW 更新(1回目)</b> → <b>再起動</b> → <b>FW 更新(2回目)</b> }</p>



### [step.0-01] 事前ファームウェア更新作業

本 step では、ご使用になる **Starter Pack** を使ってファームウェア更新する前に、予め別の **Starter Pack** を使ってファームウェア更新しておく必要がある作業を記載します。

具体的には、下表<Table 6-1 事前ファームウェア更新作業条件及び次手順>の「条件及び次手順」欄に記載する条件を満たす場合は、「条件及び次手順」欄に記載する次手順を実施します。

**Table 6-1 事前ファームウェア更新作業条件及び次手順**

ケース	条件及び次手順								
0A	<p><b>【条件】</b> 下記全てを満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。               <table border="1" data-bbox="475 1892 1449 2033"> <tr> <td>• [NE3303-190]</td> <td>RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-191]</td> <td>RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-201]</td> <td>RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</td> </tr> <tr> <td>• [NE3303-197]</td> <td>SAS コントローラ</td> </tr> </table> </li> </ul>	• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)	• [NE3303-197]	SAS コントローラ
• [NE3303-190]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-191]	RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-201]	RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)								
• [NE3303-197]	SAS コントローラ								

	<p>- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>5.32 未満</b>」である。</p> <hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ファームウェアバージョンの確認方法は、                  &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p> </div> <hr/> <p>【次手順】 &lt;6.1【ケース 0A】事前ファームウェア更新手順&gt;</p>
0B	<p>【条件】 下記全てを満たす。</p> <hr/> <p>- Starter Pack (S8.80-005.10 以上) を使ってファームウェア更新する。</p> <p>- 下記いずれかの本体装置、或いは、下記いずれかの NIC オプション製品を装置搭載している。</p> <p>&lt;本体装置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y</li> </ul> <p>(備考) Mother Board 内蔵 NIC 装備の本体装置</p> <p>&lt;NIC オプション製品&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [NE3304-171] 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)</li> <li>・ [NE3304-178] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)</li> <li>・ [NE3304-179] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)</li> </ul> <p>- 上記本体装置 Mother Board 内蔵 NIC、或いは、上記 NIC オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>20.27.42 未満</b>」である。</p> <hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ファームウェアバージョンの確認方法は、                  &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p> </div> <hr/> <p>【次手順】 &lt;6.2【ケース 0B】事前ファームウェア更新手順&gt;</p>

### [step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。  
 具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.1-02] iLO 設定の事前確認

事前確認項目はございません。次の作業に進んでください。・

### [step.1-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
 具体的な手順は、前記<5.2リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.1-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
 具体的な手順は、前記<5.3Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

### [step.1-05] 本体装置 電源 ON

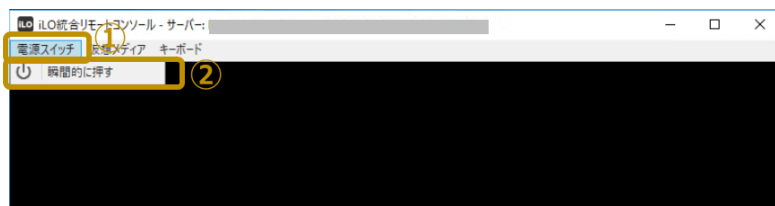
本体装置の電源を ON します。

具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



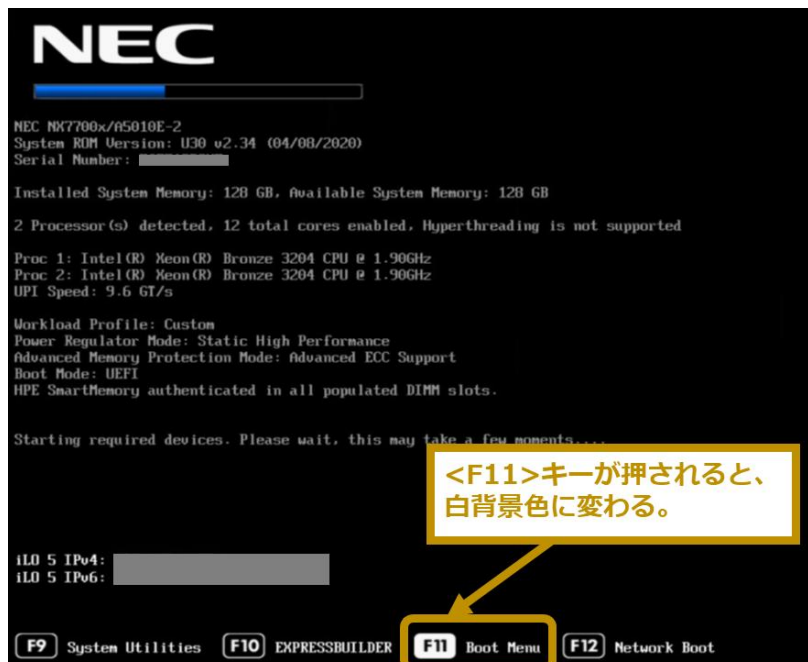
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.1-06] Boot Menu の起動

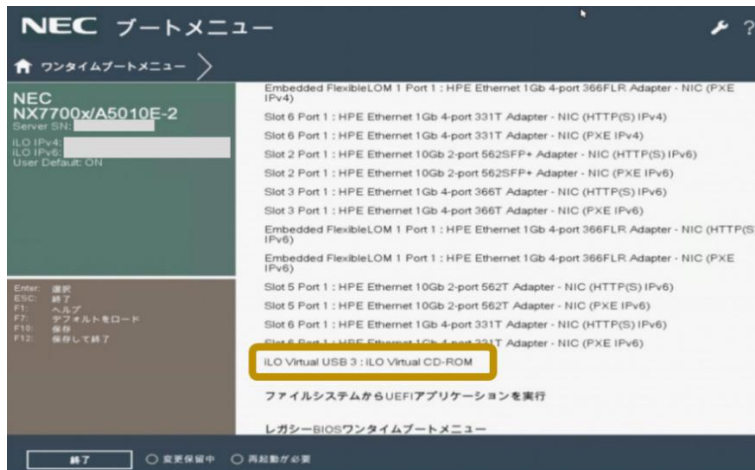
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



### [step.1-07] Starter Pack の起動

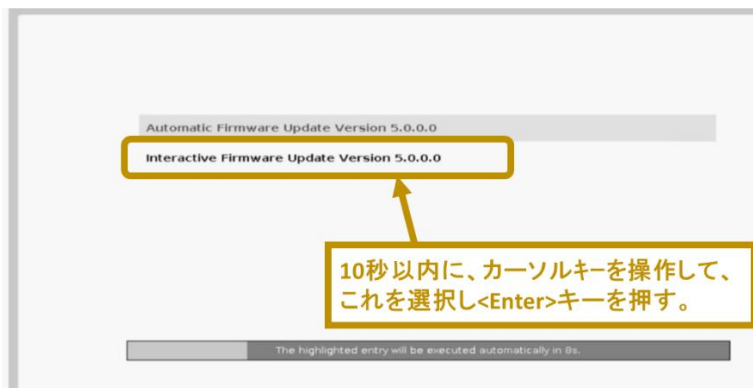
#### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。




10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update ...」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

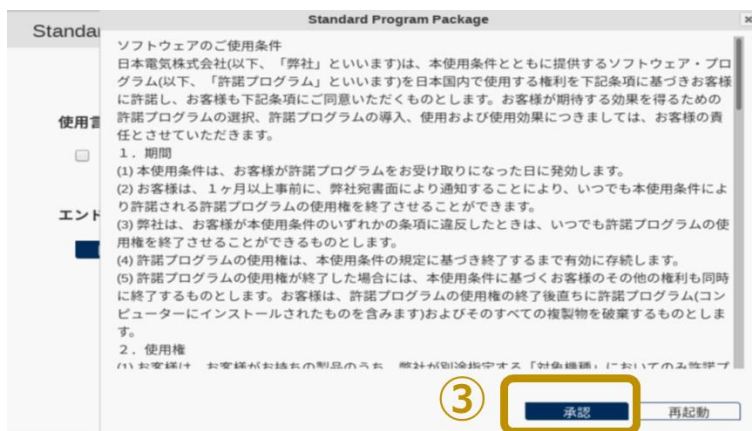
## C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



	上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。
---	----------------------------

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。

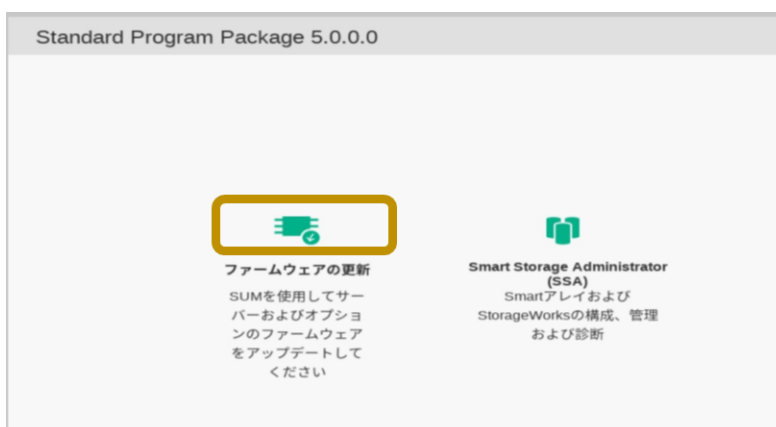



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。



### [step.1-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動


下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



	上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。  画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update
---	---


**Manager (SUM)** ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。

もし **Smart Update Manager (SUM)** ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 **OFF** した上で再実行願います。



ヒント

下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。




### [step.1-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。





ヒント

インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

### [step.1-10] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択 (その1)

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

手順 1  
インベントリ
手順 2  
レビュー
手順 3  
展開

**展開サマリー**

▼ localhost 適用可能なコンポーネント

適用可能なコンポーネント: 11  
 推奨されたコンポーネント: 1  
 選択されたコンポーネント: 1

すべて選択     すべて選択解除

検索

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH4000JDx8A, EH4050JDx8B, and EH0600JDx8C Drives (firmware-hds-1c3a69770-HPDS-3.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<input checked="" type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ix-0.2.0.11-2.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-80-1.30-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-2de1306882-4.21-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE		ファームウェア	推奨	2.65	1.98	必

**ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-2 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~1 回目~>に記載します。

**Table 6-2 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~1 回目~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
<del>(firmware-system-oem-u30-...)</del> <del>(OEM_U30-...)</del>	Mother Board (System ROM)	(*03)
<del>(firmware-ic-...)</del> <del>(OEM-IEGen10-...)</del>	Mother Board (IE)	(*03)
<del>(firmware-cps-...)</del> <del>(OEM-SPSGen10-...)</del>	Mother Board (SPS)	(*03)
<del>(firmware-ilo5-...)</del> <del>(ilo5-...)</del>	Mother Board (iLO)	(*03)
<del>(firmware-lpk-ilo-...)</del> <del>(firmware-ilo5-lpk-...)</del>	Mother Board (language-pack)	(*03)
(firmware-smartarray-f7c0...) (HPE_SR_Gen10_...) (HPE_E208e-p_...)	RAID/SAS	(*01), (*03), (*05), <b>(*06)</b>
(firmware-smartarray-2de1...) (firmware-smartarray-1f19...)	SAS Expander	(*01), <b>(*02)</b> , (*03)
(firmware-nic-broadcom-...) (firmware-nic-bcm-...)	NIC (1G, T)	(*01), (*03)
<del>(firmware-nic-intel-...)</del>	<del>NIC (1G, T)</del> <del>NIC (10G, T)</del> <del>NIC (10G-SFP)</del>	<del>(*01)</del>
(firmware-fc-emulex-...)	FC	(*01), <b>(*04)</b>
(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。		

- (\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。
- (\*02) **必ず下記「重要 A」をお読みください。**
- (\*03) 使用する Starter Pack に依って、何れかのパッケージ名称となります。
- (\*04) **必ず下記「重要 B」をお読みください。**
- (\*05) 本体装置構成あるいは使用する Starter Pack に依っては、複数のパッケージ名称が表示される場合があります。
- (\*06) **必ず下記「重要 C」及び「重要 D」をお読みください。**

「手順 2 レビュー」画面において、更新対象ファームウェア(パッケージ)の「コンポーネントを選択」欄を確認します。



「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



**重要 A**

**Starter Pack S8.80-005.05 未満を使用している場合、**

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-smartarray-2de1…) 或いは (firmware-smartarray-1f19…) の文字列を含むパッケージ(\*01)に対して、「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

(firmware-smartarray-2de1…) 或いは (firmware-smartarray-1f19…) の文字列を含んでいるパッケージのここを、**選択** または **強制** に変更する。

(firmware-smartarray-2de1…) 或いは (firmware-smartarray-1f19…) の文字列を含むパッケージ(\*01)については、以降の<[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業>にてファームウェア更新します。

ここで「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」にしてしまうと、不適切なファームウェアバージョンに更新されてしまいます。

(\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。

**重要 B**

**Starter Pack S8.80-005.03 未満を使用している場合、**

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-fc-emulex- …) の文字列を含むパッケージ(\*01)に対して、「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2022.03.01-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2022.03.01	必須

**(firmware-fc-emulex- …)の文字列を含んでいるパッケージのここを、  
選択 または 強制 に変更する。**

(firmware-fc-emulex- …) の文字列を含むパッケージ(\*01)については、以降の<[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業>にてファームウェア更新します。

ここで「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」にしてしまうと、当該 FW の更新に失敗する場合があります。

(\*01) 本体装置構成によっては表示されない場合があります。

**重要 C**

**Starter Pack S8.80-005.08 未満を使用している場合、**

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE\_SR\_Gen10\_…) 或いは (HPE\_E208e-p\_…) の文字列を含むパッケージ(\*01)に対して、「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408i-a, E208i-p, E208e-p, E208i-a, P816i-a SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bdbbd-5.32-2.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	5.61	5.32	必須

**(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE\_SR\_Gen10\_…) 或いは (HPE\_E208e-p\_…) の文字列を含んでいるパッケージのここを、  
選択 または 強制 に変更する。**

(firmware-smartarray-f7c0 …)、(HPE\_SR\_Gen10\_…) 或いは (HPE\_E208e-p\_…) の文字列を含むパッケージ(\*01)については、以降の<[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業>にてファームウェア更新します。

ここで「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」にしてしまうと、当該 FW の更新に失敗する場合があります。

(\*01) 本体装置構成によっては表示されない場合があります。


**重要 D**

**Starter Pack S8.80-005.08 を使用している場合、**

「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(HPE\_SR\_Gen10\_…) 及び (HPE\_E208e-p\_…) の文字列を含むパッケージが表示された場合、どちらか一方のパッケージの「コンポーネントを選択」欄を、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更し、もう一方のパッケージの「コンポーネントを選択」欄を、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE_E208e-p_Gen11_5.61_A	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須
<input type="checkbox"/>	HPE_SR_Gen10_5.61_C	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須

**(HPE\_SR\_Gen10\_…) 及び (HPE\_E208e-p\_…) の文字列を含んでいるパッケージが表示された場合、  
どちらか一方のパッケージのここを、選択済み または 強制 に変更し、  
もう一方のパッケージのここを、選択 または 強制 に変更する。**

	<p>どちらか一方のパッケージだけが、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に設定できます。</p>
---	--

**重要**

ここでは、「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むパッケージ(\*01) に対して、「コンポーネントを選択」欄の設定を変更しないでください。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
選択済み	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.20.10-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.20.10	必須
強制	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.19.11-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.19.11	必須

② ここでは、この設定を変更してはいけません

① (firmware-nic-intel- …) の文字列を含んでいる


(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むパッケージ(\*01) については、次の「B. ファームウェアの選択 (その 2)」、或いは、「C. ファームウェア選択 (その 3)」に従ってください。

ここで変更してしまうと、ファームウェア更新(展開)が失敗する、あるいは不適切なファームウェアバージョンに更新されてしまう場合があります。

(\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。

**重要**

「手順 2 レビュー」画面において、★更新対象以外★の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄の設定を変更しないでください。

	<p>設定変更しないことに因り、更新対象以外のファームウェア(パッケージ)も更新される場合がありますが、これは意図した更新であり、問題ありません。</p>
---	---

**B. ファームウェアの選択 (その 2)**

**重要**

本操作は、~~Starter Pack S8.80-003.01、S8.80-003.02、或いは、S8.80-004.01~~ を使用している場合のみ実施します。

それ以外の Starter Pack バージョンを使用している場合に本操作を行ってしまうと、ファームウェア更新(展開)が失敗する、あるいは不適切なファームウェアバージョンに更新されてしまう場合があります。


~~下記「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むパッケージ(\*01) の「コンポーネントを選択」欄を確認します。~~

~~(\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。表示されていない場合には、本操作は不要です。~~

~~「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、~~

~~「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。~~

### C. ファームウェアの選択 (その 3)

 <b>重要</b>	<p>本操作は、<b>Starter Pack S8.80-005.01</b> を使用している場合のみ実施します。</p> <p>それ以外の <b>Starter Pack</b> バージョンを使用している場合に本操作を行ってしまうと、ファームウェア更新(展開)が失敗する、あるいは不適切なファームウェアバージョンに更新されてしまう場合があります。</p>
--	---

下記「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄において、(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むパッケージ(\*01) の「コンポーネントを選択」欄を確認します。


コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.22.6-1.1.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	1.22.6	必須

(firmware-nic-intel- …) の文字列を含んでいるパッケージのここを確認

(\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。  
表示されていない場合には、本操作は不要です。

「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。

選択済み    または     強制         選択    または     強制

 <b>重要</b>	<p>Starter Pack S8.80-005.01 を使用している場合、(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むパッケージについては、以降の &lt;[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業&gt; にてファームウェア更新します。</p>
--	--

### D. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。

強制	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x86) - HPE Smart Array P408-p, P408e-p, P408-a, P408-c, E208-p, E208e-p, E208-c, E208-a, P408-b, P408e-m, P204-c, P204-b, P816-a and P416e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bd500-1.98-1.1.x86_64)	ファームウェア	推奨	2.65	1.98	必須
強制	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04-01-04-251-2.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	詳細の参照	04.01.04.251	必須
強制	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-rom-u30-2.00_2019_02-1.1.x86_64)	ファームウェア	オプション	U30 2.34 - (04/08/2020)	U30 2.00 - (02/02/2019)	必須

警告/アラート


## [step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認



### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファーム

ウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



 <b>ヒント</b>	全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 40 分ほどかかります。
---	---------------------------------------

 <b>重要</b>	<p>Mother Board(iLO)或いは Mother Board(language pack)の展開が完了すると、iLO がリセットされ、下記のようなポップアップ画面が表示され、リモートコンソール及び iLO Web インターフェースが切断されます。(最大 3 回 iLO がリセットされます)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>IRCセッションが開いています</p> <p> このリモート コンソール セッションは、ファームウェアのアップデートのために、終了しました。</p> <p style="text-align: right;">OK</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p>IRC - iLOリセット中</p> <p> iLOをリセット中です。30秒後に再度接続してください。</p> <p style="text-align: right;">OK</p> </div> </div> <p>よって、下記手順を実施し、iLO Web コンソールへの再接続・ログイン、リモートコンソールの再起動、Starter Pack の再マウントを行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. &lt;5.1 iLO Web インターフェース接続方法&gt;</li> <li>2. &lt;5.2 リモートコンソール接続方法&gt;</li> <li>3. &lt;5.3 Starter Pack のマウント方法&gt;</li> </ol> <hr/> <p>また、下記ポップアップ画面が表示されましたら、端末パソコンの Web ブラウザのキャッシュをクリアしてから、iLO Web コンソールに再接続・ログインしてください。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>Web ページからのメッセージ</p> <p> iLOファームウェアのバージョンが変更されました。続行する前に、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。</p> <p style="text-align: right;">OK</p> </div>
--	--

## B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



**ヒント**

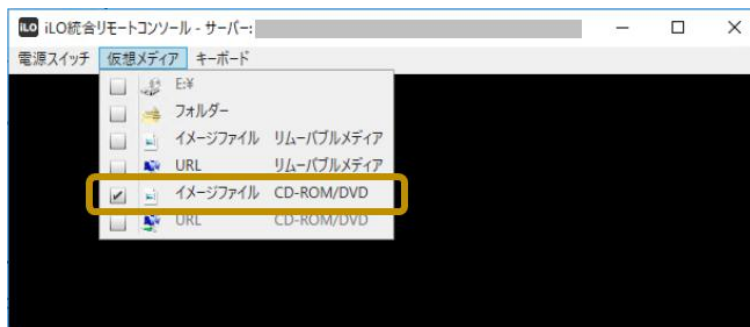
Starter Pack S8.80-005.03 を使用してファームウェア更新をおこなった際、(firmware-nic-intel- ...) パッケージのファームウェア更新がエラーした (赤アイコン表示) ならば、下記「7.2 [TS-002] (firmware-nic-intel- ...) パッケージのファームウェア更新がエラーする」を参照してください。

①赤アイコン表示となり、「インストールはエラーで終了しました。」と表示される。

②(firmware-nic-intel- ...) の文字列を含むコンポーネントがエラーする (赤アイコン表示となる)

### C. Starter Pack のマウント状態の確認

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウント状態を確認します。具体的には、リモートコンソールの [仮想メディア] をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD] にチェック (レ点) が付いていることを確認します。



もしチェック (レ点) が付いていなければ、前記 <5.3 Starter Pack のマウント方法> を参照して、再度 Starter Pack をマウントします。

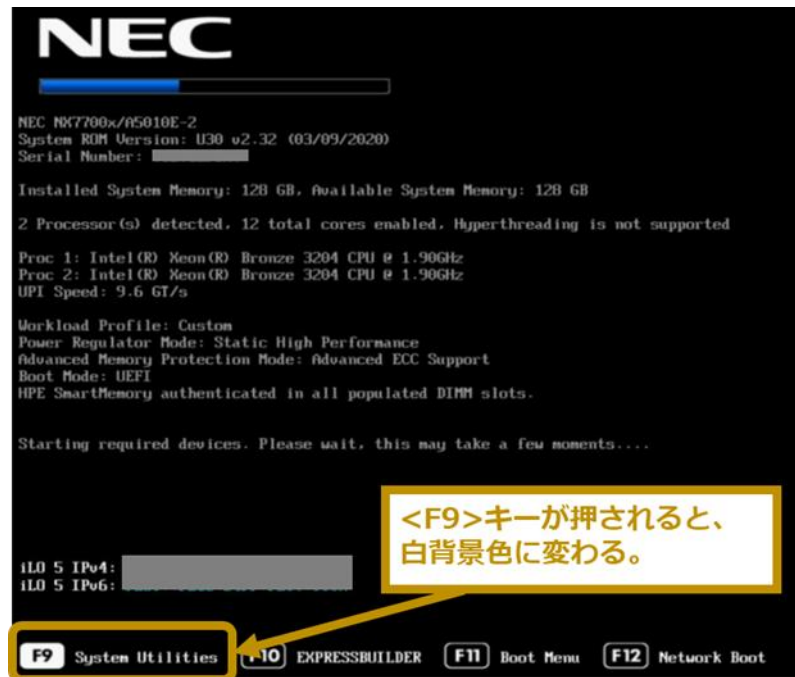
### D. 本体装置の再起動


下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①) をクリックします。そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



## [step.2-01] System Utilities の起動

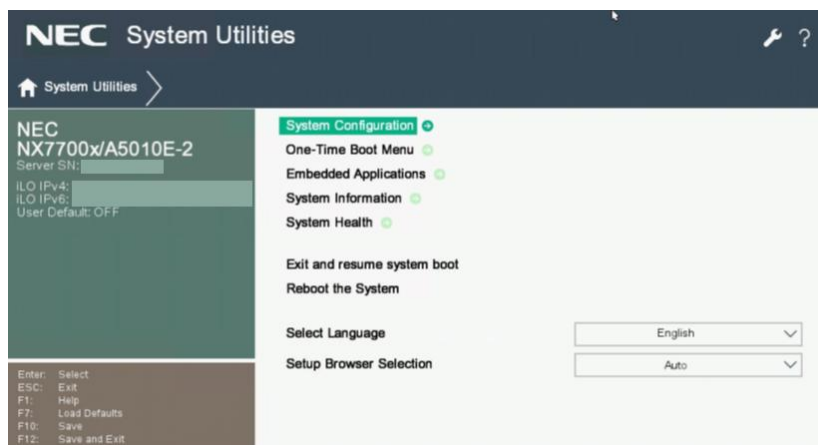
再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。





上記 POST 画面表示のタイミングで、最大 2 回再起動する場合があります。これは、展開されたファームウェアを反映させるための動作であり、この処理に最大約 30 分ほどかかります。

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



## [step.2-02] ファームウェア更新の結果確認

### A. ファームウェア更新完了の確認

この時点におけるファームウェア更新が全て完了しているか否かを確認します。

具体的には、iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「インストールキュー」タブ (②) をクリックします。

そして、表示されているタスク一覧 (③) 内の「状態」列 (④) を確認します。



- 「状態」が「保留」或いは「進行中」であるタスクが存在する場合、全てのタスクが「完了」するまで、待ち合わせます。

重要

待ち合わせしている際、本体装置が数回再起動する場合があります。再起動すると、リモートコンソールが下記 POST 画面表示になりますので、<F9>キーを押して **System Utilities** を起動してください。


System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。

そして、『全てのタスクが「完了」し、且つ System Utilities が起動している』ならば、次の<[step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認>に進みます。


- 「状態」が「保留」或いは「進行中」であるタスクが存在しない、あるいはタスク自体が存在しない場合は、次の<[step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認>に進みます。

31 / 135

GZS-001547-001-00

 <b>ヒント</b>	<p>ファームウェア更新は、基本、&lt;[step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認&gt;の「A. ファームウェア展開の完了待ち」のタイミングで行われます。</p> <p>しかし、ファームウェアによっては、上記タイミングにて、ファームウェア更新パッケージを iLO のインストールキューに登録し、その後の本体装置再起動後にファームウェア更新する場合があります。</p> <p>本作業は、この「本体装置再起動後にファームウェア更新する」場合に適応させるものです。</p>
---	--

### [step.2-03] "Redundant System ROM" ファームウェアバージョンの確認

 <b>ヒント</b>	<p>本体装置の Mother Board に収録される System ROM は 2 バンク構成になっています。そこで、このタイミングで、Redundant バンク側の System ROM ファームウェアの更新要否を判断します。</p>
---	--

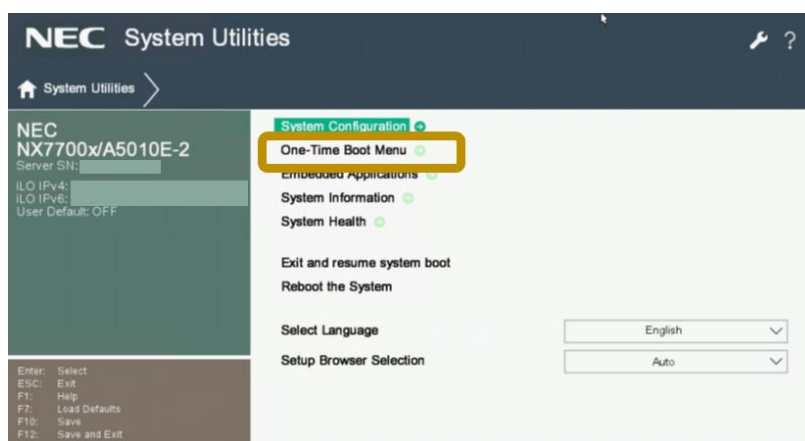
<8.1.1iLO Web コンソールでの確認方法>を参照して、下記ファームウェア名のバージョンを確認します。

ファームウェア名	ファームウェアバージョン	参考情報 (対応デバイス)
System ROM		Mother Board (System ROM)
Redundant System ROM		

- "Redundant System ROM" バージョンが "System ROM" バージョン★未満★であるならば、Redundant バンク側の System ROM ファームウェア更新が必要です。  
次の<[step.2-04] Boot Menu の起動>に進みます。
- "Redundant System ROM" バージョンが "System ROM" バージョン★以上★であるならば、Redundant バンク側の System ROM ファームウェア更新は不要です。  
以降の<[step.3-02] Starter Pack ファイルのマウント解除>に進みます。

### [step.2-04] Boot Menu の起動

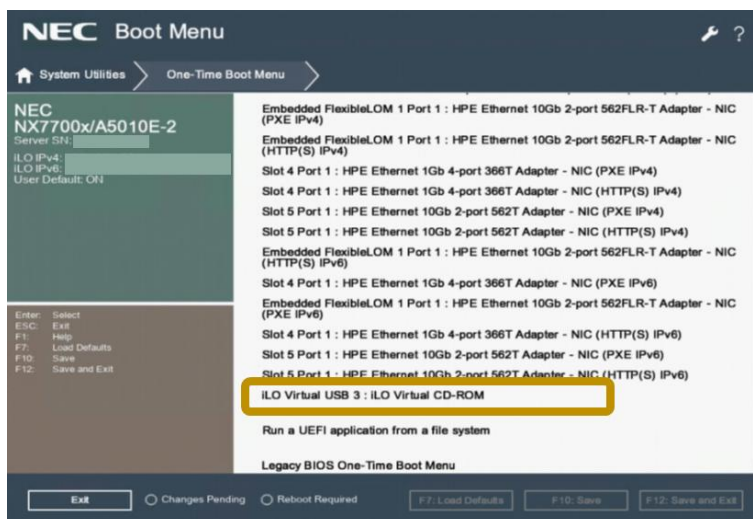
リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「One-Time Boot Menu」を選択します。



### [step.2-05] Starter Pack の起動

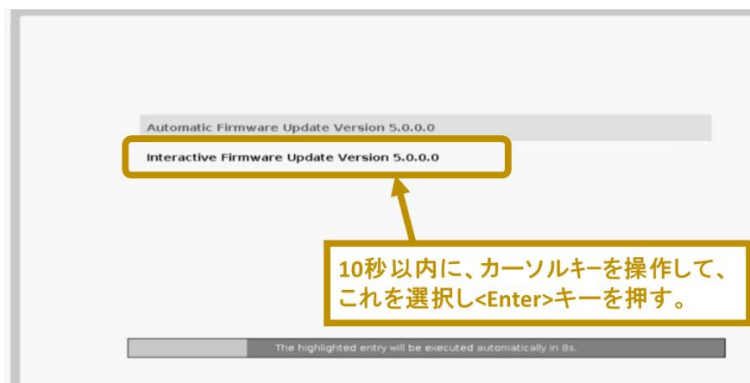
#### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3: iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。




10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

## C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



	上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。
---	----------------------------

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。




最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。



### [step.2-06] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



	上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。  画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update
---	---

**Manager (SUM)** ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。

もし **Smart Update Manager (SUM)** ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 **OFF** した上で再実行願います。



下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。



### [step.2-07] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

### [step.2-08] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

手順1 インベントリ | **手順2 レビュー** | 手順3 展開

展開サマリー


▼ localhost 適用可能なコンポーネント

適用可能なコンポーネント: 11  
 推奨されたコンポーネント: 1  
 選択されたコンポーネント: 1

すべて選択  すべて選択解除

検索

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDX8A, EH0450JDX8B, and EH0600JDX8C Drives (firmware-hd0-1c3ab9770+HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	4.21	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.98	必須

 **ヒント** 上記「手順2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-3 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~2回目~>に記載します。

**Table 6-3 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~2回目~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-system-oem-u30- …) (OEM.U30_…)	Mother Board (System ROM)	(*01)

(\*a) 「手順2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(\*01) 使用する Starter Pack に依って、何れかのパッケージ名称となります。

「手順2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDX8A, EH0450JDX8B, and EH0600JDX8C Drives (firmware-hd0-1c3ab9770+HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ

**更新対象ファームウェア (パッケージ)のここを確認**

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



### [step.2-09] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

#### B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



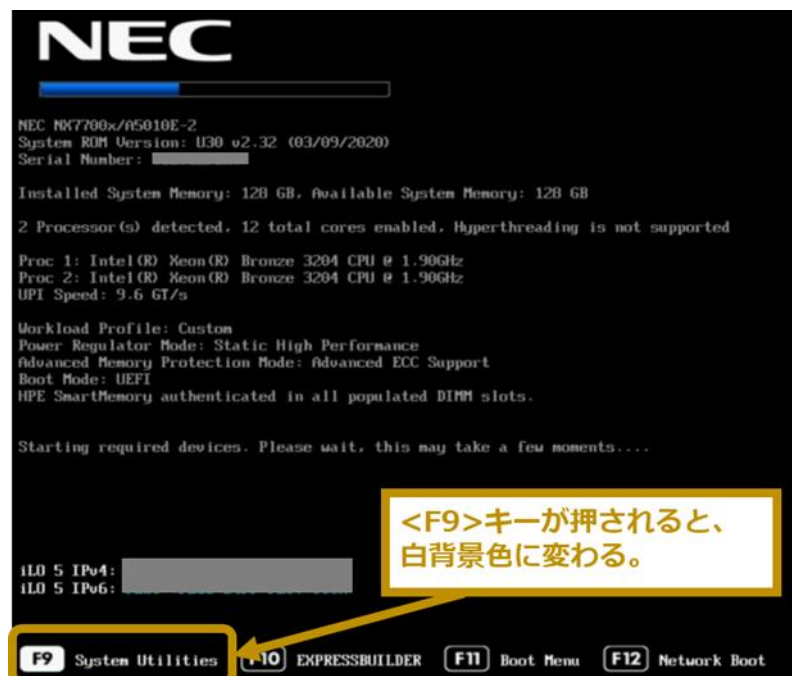
### C. 本体装置の再起動

下記「手順3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。  
 そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。

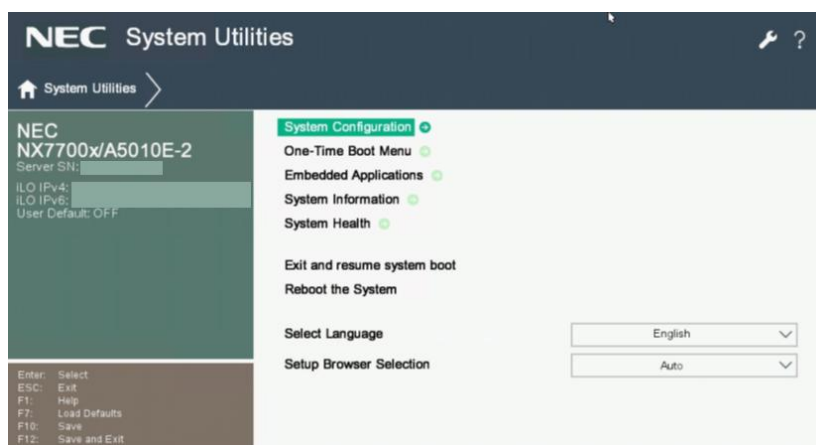


#### [step.3-01] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



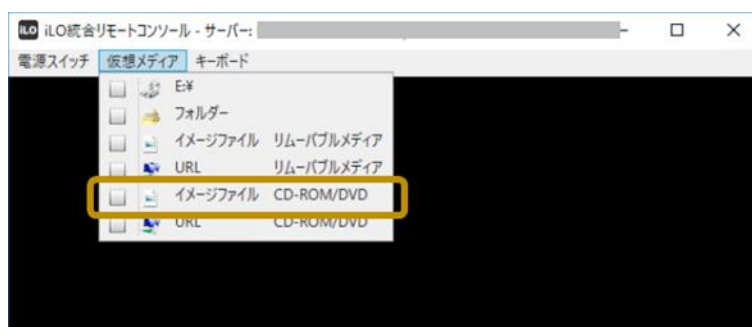
System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下記画面表示に切り替わります。



### [step.3-02] Starter Pack ファイルのマウント解除

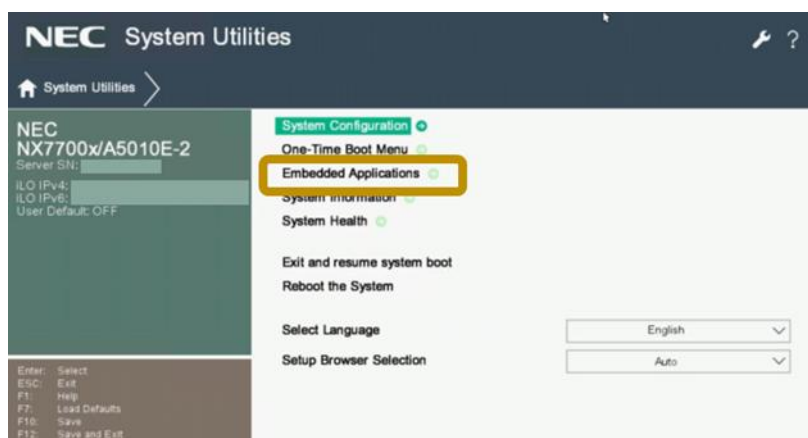
リモートコンソールにおいて、Starter Pack ファイルのマウントを解除します。  
 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



### [step.3-03] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」→「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.3-04] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```

```

UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.60 (NEC, 0x00020000)
Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell>
Shell>
Shell>
Shell> reset -s_

```

### [step.3-05] 本体装置の AC OFF → ON

FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

#### A. 本体装置の AC OFF

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。



本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯しません。  
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

#### B. 本体装置の AC ON

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。

そして、本体装置が AC ON 完了するまで待合せます。

具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待合せます。



本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。  
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。  
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置を電源 OFF してください。

### [step.4-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

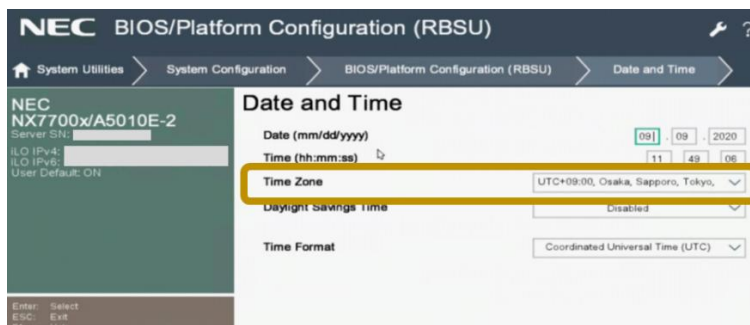
### [step.4-02] iLO の設定


#### A. タイムゾーンの設定

- ① iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「iLO 専用ネットワークポート」(①)をクリックし、「SNTP」タブ(②)をクリックします。  
そして、「タイムゾーン」項目(③)にてタイムゾーンを選択したのち、「適用」ボタン(④)をクリックします。



選択するタイムゾーンは、{System Utilities: [System Configuration] → [BIOS/Platform Configuration (RBSU)] → [Date and Time]}の「Time Zone」と同じタイムゾーンです。






”GMT”は”UTC”に読み替えてください。

- ⑤ 「適用」ボタンをクリックすると、iLO Web インターフェースの画面上部に、「iLO をリセット」ボタン (⑤) が表示されますので、当該ボタンをクリックします。すると、画面右側に「iLO をリセット」フレームが表示されますので、「はい、リセットします」ボタン (⑥) をクリックします。






「はい、リセットします」ボタン (⑥) をクリックすると、iLO がリセットされ、iLO Web インターフェースがログイン画面になります。

**[step.5-01] 追加ファームウェア更新作業**

下表<Table 6-4 追加ファームウェア更新作業条件及び次手順>の「条件及び次手順」欄に記載する条件を満たす場合は、「条件及び次手順」欄に記載する次手順を実施します。



**Table 6-4 追加ファームウェア更新作業条件及び次手順**

ケース	条件及び次手順												
<b>P</b>	<p><b>【条件】</b> 下記を全て満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.05 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 「[NE3316-51]SAS エキスパンダカード」を装置搭載している。</li> </ul> <hr/> <p><b>【次手順】</b> &lt;6.3【ケース P】追加ファームウェア更新手順&gt;</p>												
<b>Q</b>	<p><b>【条件】</b> 下記を全て満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.01) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載しており、且つ下記ファームウェアバージョンのオプション製品が1つ以上存在する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #002060; color: white;">対象オプション製品</th> <th style="background-color: #002060; color: white;">対象ファームウェアバージョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[NE3304-172] 1000BASE-T接続LOM カード(4ch)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.2836.0 未満</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-180] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-181] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-175] 10GBASE-T接続LOMカード(2ch)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10.54.4 未満</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-184] 10GBASE-T 接続ボード(2ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-176] 10GBASE-SFP接続LOMカード(2ch)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10.54.7 未満</td> </tr> <tr> <td>[NE3304-186] 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">ファームウェアバージョンの確認方法は、&lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p> <hr/> <p><b>【次手順】</b> &lt;6.4【ケース Q】追加ファームウェア更新手順&gt;</p>	対象オプション製品	対象ファームウェアバージョン	[NE3304-172] 1000BASE-T接続LOM カード(4ch)	1.2836.0 未満	[NE3304-180] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)	[NE3304-181] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)	[NE3304-175] 10GBASE-T接続LOMカード(2ch)	10.54.4 未満	[NE3304-184] 10GBASE-T 接続ボード(2ch)	[NE3304-176] 10GBASE-SFP接続LOMカード(2ch)	10.54.7 未満	[NE3304-186] 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch)
対象オプション製品	対象ファームウェアバージョン												
[NE3304-172] 1000BASE-T接続LOM カード(4ch)	1.2836.0 未満												
[NE3304-180] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)													
[NE3304-181] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)													
[NE3304-175] 10GBASE-T接続LOMカード(2ch)	10.54.4 未満												
[NE3304-184] 10GBASE-T 接続ボード(2ch)													
[NE3304-176] 10GBASE-SFP接続LOMカード(2ch)	10.54.7 未満												
[NE3304-186] 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch)													
<b>R</b>	<p><b>【条件】</b> 下記を全て満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.03 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #002060; color: white;">対象オプション製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[NE3390-163] Fibre Channel コントローラ(1ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-164] Fibre Channel コントローラ(2ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-171] Fibre Channel コントローラ(1ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-172] Fibre Channel コントローラ(2ch)</td> </tr> </tbody> </table> <hr/> <p><b>【次手順】</b> &lt;6.5【ケース R】追加ファームウェア更新手順&gt;</p>	対象オプション製品	[NE3390-163] Fibre Channel コントローラ(1ch)	[NE3390-164] Fibre Channel コントローラ(2ch)	[NE3390-171] Fibre Channel コントローラ(1ch)	[NE3390-172] Fibre Channel コントローラ(2ch)							
対象オプション製品													
[NE3390-163] Fibre Channel コントローラ(1ch)													
[NE3390-164] Fibre Channel コントローラ(2ch)													
[NE3390-171] Fibre Channel コントローラ(1ch)													
[NE3390-172] Fibre Channel コントローラ(2ch)													


<b>S</b>	<p><b>【条件】</b> 下記全てを満たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-197] SAS コントローラ</li> </ul> </li> <li>- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>5.61 以外</b>」である。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ファームウェアバージョンの確認方法は、  &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p> </div>
	<p><b>【次手順】</b> &lt;6.6【ケース S】追加ファームウェア更新手順&gt;</p>

以上で、ファームウェア更新作業は終了です。

## 6.1. 【ケース 0A】 事前ファームウェア更新手順

 <b>重要</b>	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-197] SAS コントローラ</li> </ul> </li> <li>- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>5.32 未満</b>」である。</li> </ul>
 <b>ヒント</b>	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、  &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p>

 <b>重要</b>	<p>本章記載作業にて使用する Starter Pack は、<b>S8.80-005.05</b> です。</p>
--	--

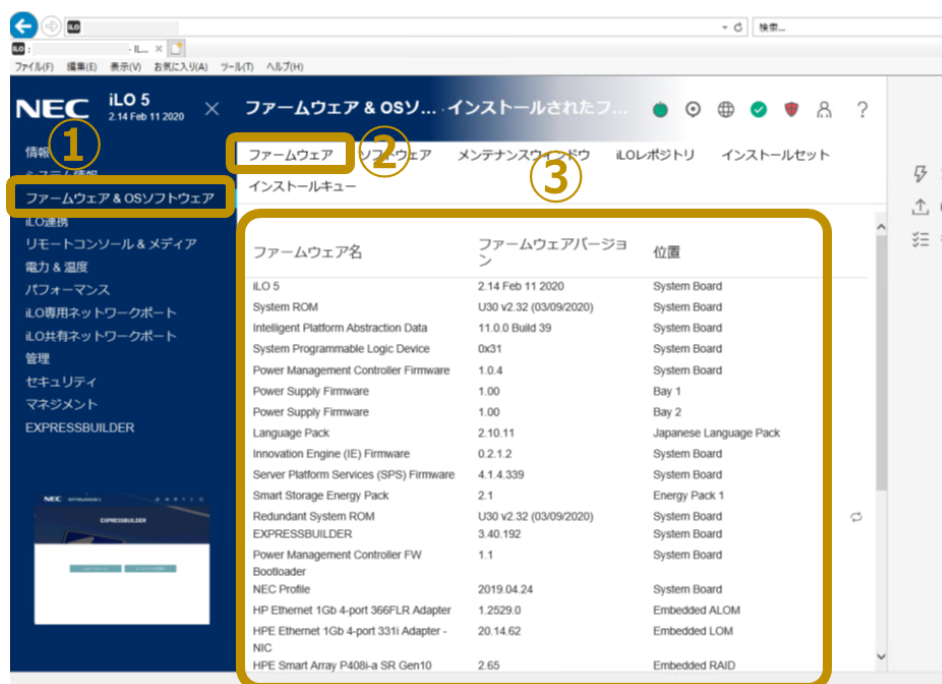
 <b>ヒント</b>	<p>上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「<b>5.61 以上</b>」を適用します。</p> <p>但し、バージョン「<b>5.61 以上</b>」への更新には、下記制約があります。</p> <p><b>【制約】</b> バージョン「<b>5.61 以上</b>」への更新は、バージョン「<b>5.32 以上</b>」からのみ可能。  バージョン「<b>5.32 未満</b>」からは不可。</p> <p>即ち、バージョン「<b>5.32 未満</b>」から「<b>5.61 以上</b>」へ更新する場合は、  <b>{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上}</b> と 2 段階で更新しなければなりません。</p> <p>そして、本章記載作業は、その第 1 段階の <b>{5.32 未満 → 5.32}</b> の更新作業になります。</p>
--	---

### [step.0a-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。  
具体的な手順は、前記<5.1 iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.0a-02] ファームウェアバージョンの確認

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE Smart Array P408i-a SR Gen10	5.32 以上	[NE3303-190]
HPE Smart Array P816i-a SR Gen10		[NE3303-191]
HPE Smart Array P408i-p SR Gen10		[NE3303-201]
HPE Smart Array E208e-p SR Gen10		[NE3303-197]

(\*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、事前ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース 0A】事前ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、事前ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

**ヒント** 本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。(表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)

### [step.0a-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.0a-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.05) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

### [step.0a-05] 本体装置 電源 ON

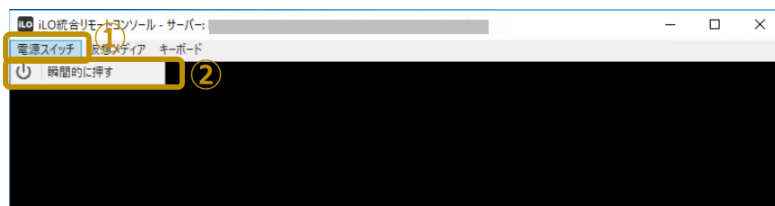
本体装置の電源を ON します。


具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



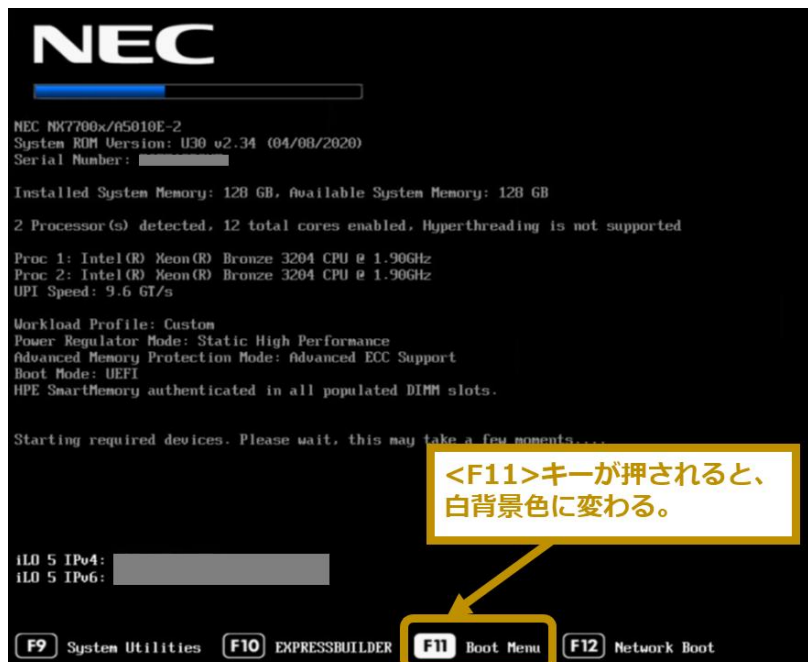
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



	リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。
--	---

### [step.0a-06] Boot Menu の起動

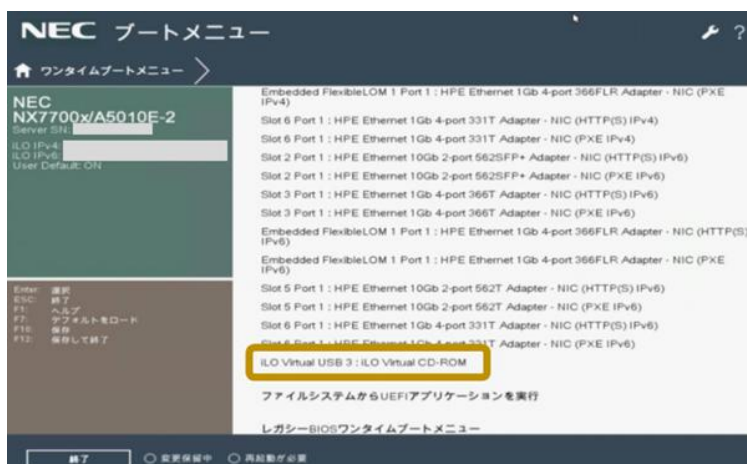
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



### [step.0a-07] Starter Pack の起動

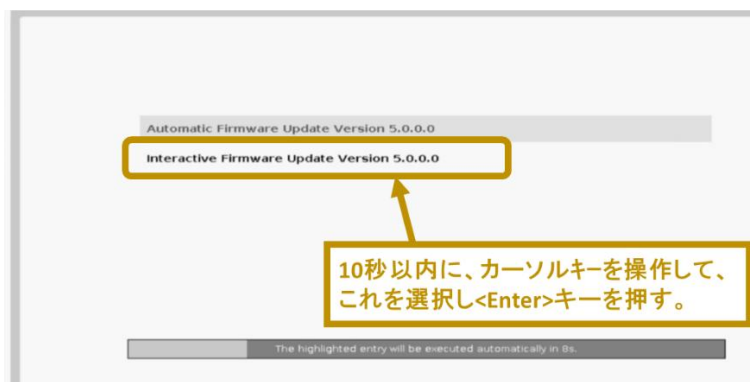
#### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. Interactive モードの選択

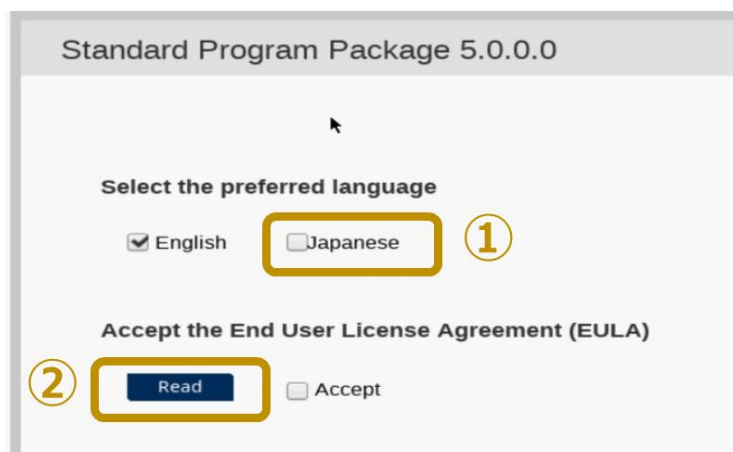
下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。




10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

## C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



	<p>上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。</p>
---	-----------------------------------

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。

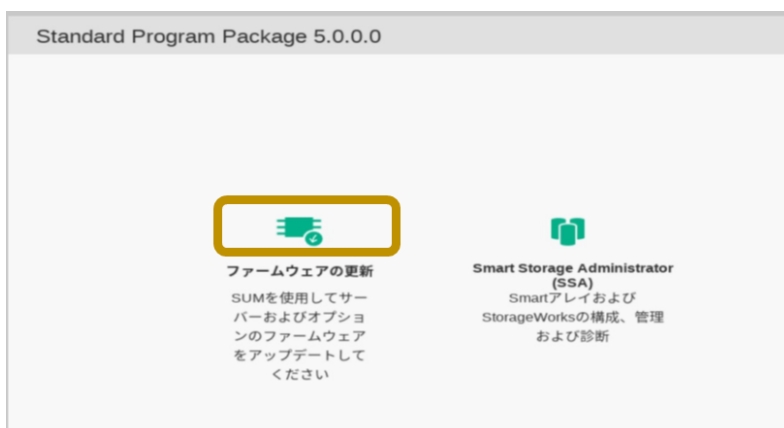



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




### [step.0a-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。




	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p>
---	--

	<p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	---

  
ヒント

下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。




### [step.0a-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヒント</span>	<p>インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。</p>
--	----------------------------------

### [step.0a-10] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

手順1 インベントリ | **手順2 レビュー** | 手順3 展開

展開サマリー


▼ localhost 適用可能なコンポーネント

適用可能なコンポーネント: 11  
 推奨されたコンポーネント: 1  
 選択されたコンポーネント: 1

すべて選択  すべて選択解除

検索

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	●	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c2ab97ff0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オフショ	詳細の参照	4.21	必須

 **ヒント** 上記「手順2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-5 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(0A)~>に記載します。

**Table 6-5 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(0A)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-smartarray-f7c0...)	RAID/SAS [NE3303-190/191/201/197]	(*01)

(\*a) 「手順2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(\*01) 本体装置構成に依っては表示されない場合があります。

「手順2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



### [step.0a-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

#### B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

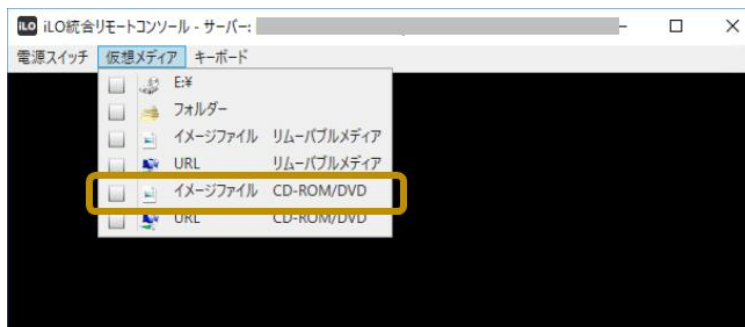
展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



### C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、**Starter Pack** のマウントを解除します。  
 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



### D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。  
 そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



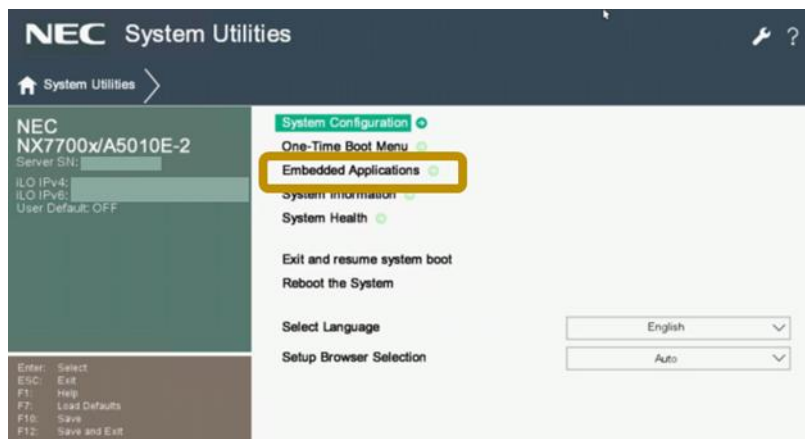
### [step.0a-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して **System Utilities** を起動します。



### [step.0a-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.0a-14] 本体装置の電源 OFF



リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。


```
Shell> reset -s
```




以上で、【ケース 0A】事前ファームウェア更新作業は終了です。

## 6.2. 【ケース 0B】 事前ファームウェア更新手順

	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.10 以上) を使ってファームウェア更新する。</li> <li>- 下記いずれかの本体装置、或いは、下記いずれかの NIC オプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;本体装置&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y (備考) Mother Board 内蔵 NIC 装備の本体装置</li> </ul> </li> <li>&lt;NIC オプション製品&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [NE3304-171] 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)</li> <li>・ [NE3304-178] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)</li> <li>・ [NE3304-179] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>- 上記本体装置 Mother Board 内蔵 NIC、或いは、上記 NIC オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>20.27.42 未滿</b>」である。</li> </ul>
	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、 &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p>

	<p>本章記載作業にて使用する Starter Pack は、<b>S8.80-005.09</b> です。</p>
---	--

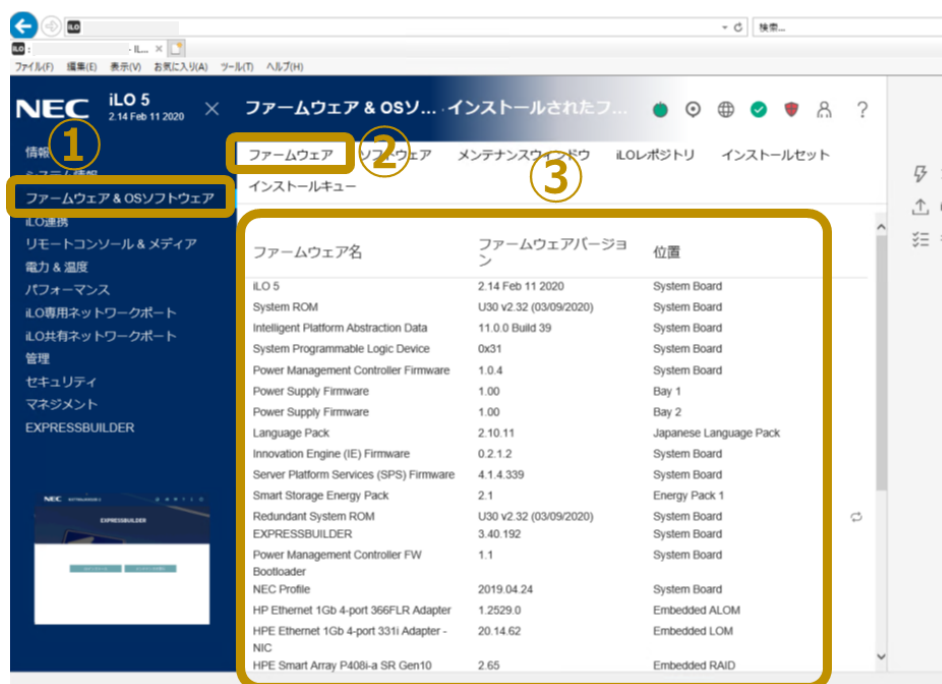
	<p>上記本体装置 Mother Board 内蔵 NIC、及び、上記 NIC オプション製品のファームウェアに関して、Starter Pack (S8.80-005.10 以上) を使ってファームウェア更新する場合、予め、バージョン「<b>20.27.42 以上</b>」にしておく必要があります。</p> <p>本章記載作業は、そのための更新作業になります。</p>
---	---

### [step.0b-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。  
具体的な手順は、前記<5.1 iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.0b-02] ファームウェアバージョンの確認


iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i	20.27.42 以上	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331FLR		[NE3304-171]
HPE Ethernet 1Gb 2-port 332T		[NE3304-178]
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331T		[NE3304-179]
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		
(*01) [本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y]の Mother Board 内蔵 NIC		

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、事前ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース 0B】事前ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、事前ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

 **ヒント** 本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。(表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)

### [step.0b-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.0b-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.09) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようになります。  
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

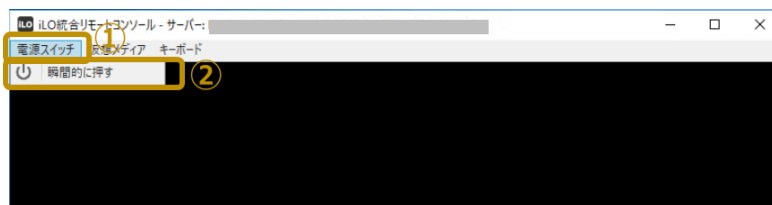
### [step.0b-05] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。  
具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



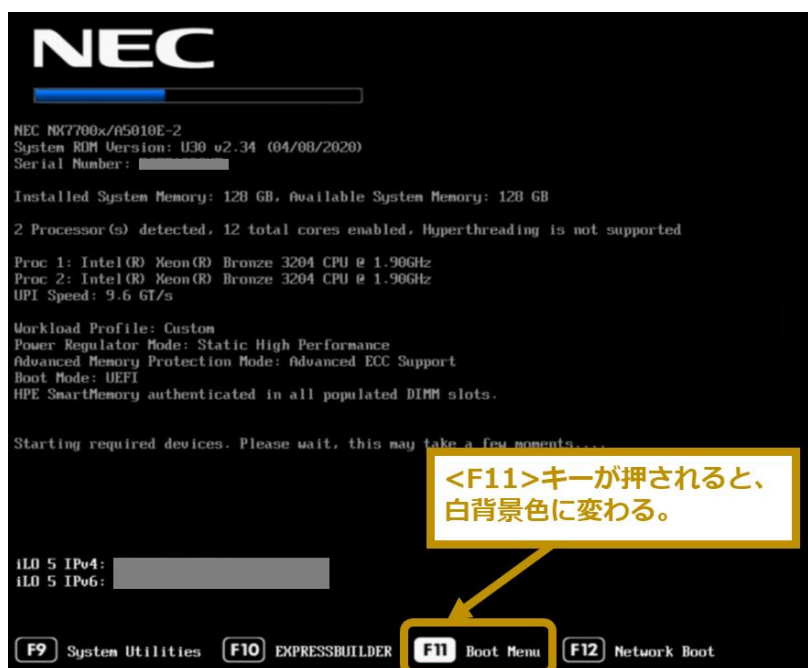
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.0b-06] Boot Menu の起動

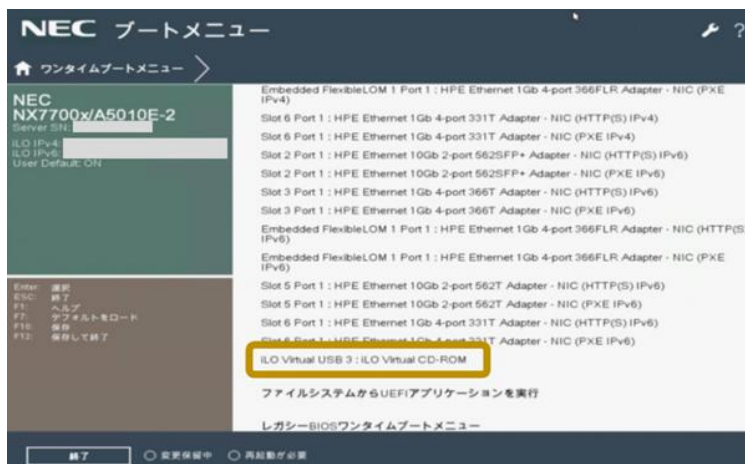
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



## [step.0b-07] Starter Pack の起動

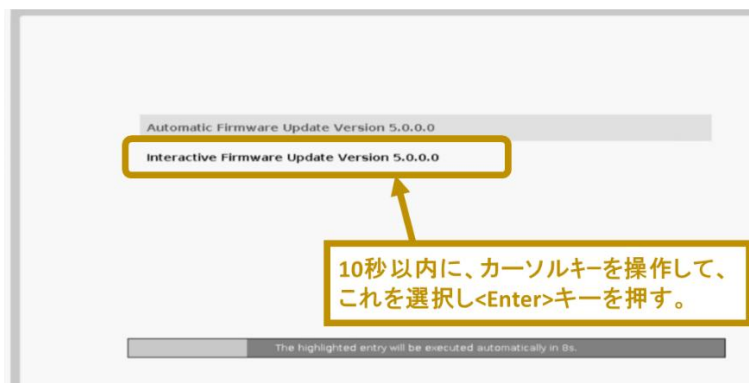
### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



### B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。




**重要** 10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update ...」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

### C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



 ヒント 上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。




最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




### [step.0b-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



 <b>重要</b>	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、<b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし <b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	--

 <b>ヒント</b>	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>
	

**[step.0b-09] ファームウェアインベントリの完了待ち**

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

## [step.0b-10] ファームウェアの選択

### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-rc-emulex-2019.03.01.1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH4000JDX3A, EH4050JDX3B, and EH4060JDX3C Drives (firmware-hdd-1cta09770-HPDS-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPDS	環境に依存
<input checked="" type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ic-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-0-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nc-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30a1360802-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必須



上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-6 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(0B)~>に記載します。

**Table 6-6 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~事前(0B)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-nic-bcm- …)	NIC (*02) NIC [NE3304-171/178/179]	(*01)
(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。		
(*01) 本体装置構成によっては表示されない場合があります。		
(*02) [本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y]の Mother Board 内蔵 NIC		

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。




### [step.0b-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。





全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

## B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。

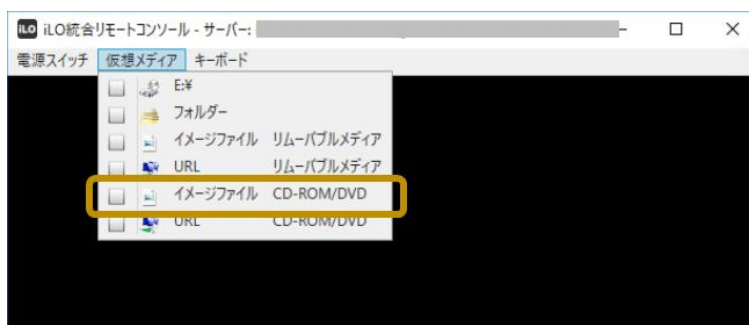


## C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウントを解除します。

具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



## D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。

そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



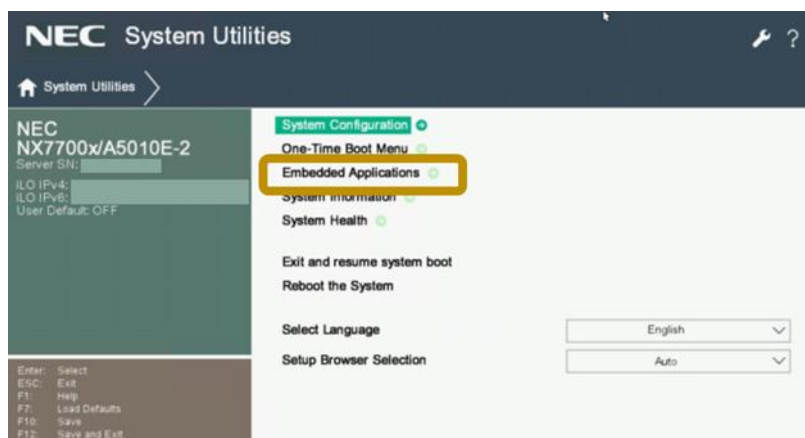
### [step.0b-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



### [step.0b-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.0b-14] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。


```
Shell> reset -s
```


```
UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.60 (NEC, 0x00020000)
Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell>
Shell>
Shell>
Shell> reset -s_
```

---

以上で、【ケース 0B】事前ファームウェア更新作業は終了です。

## 6.3. 【ケース P】追加ファームウェア更新手順

 <b>重要</b>	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.05 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 「[NE3316-51]SAS エキスパンダカード」を装置搭載している。</li> </ul>
--	--

 <b>ヒント</b>	<p>「[NE3316-51]SAS エキスパンダカード」のファームウェアについては、<b>Starter Pack (S8.80-005.05)</b> に収録されているファームウェアを使用します。そのため、本章記載の作業が必要になります。</p>
---	---

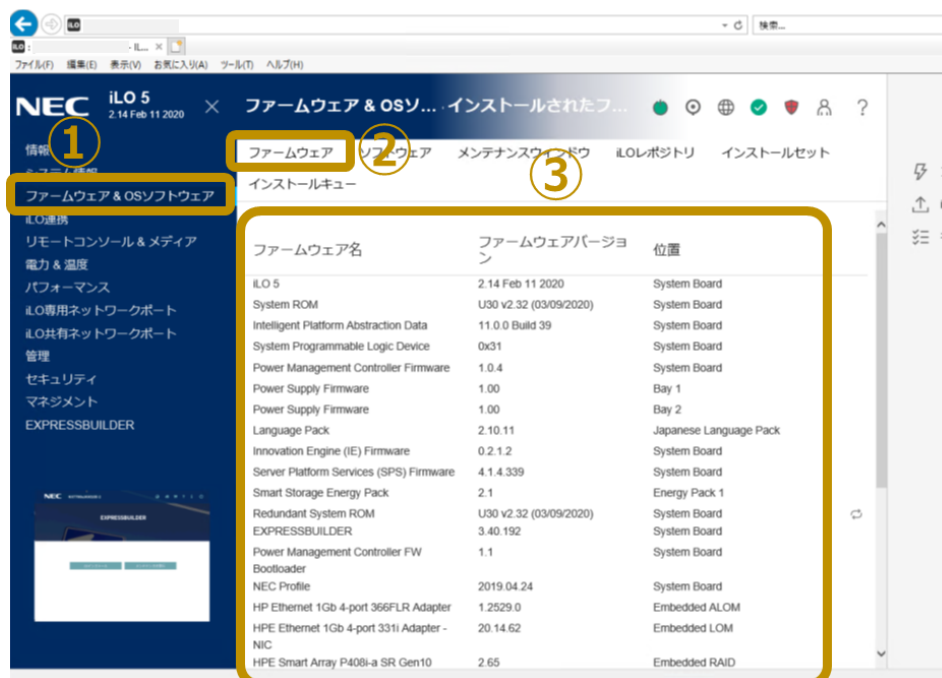
### [step.p-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.p-02] ファームウェアバージョンの確認

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
Drive Enclosure	5.14 以上	
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		

- 上表記載のファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、追加ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース P】追加ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、追加ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

### [step.p-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.p-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.05) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

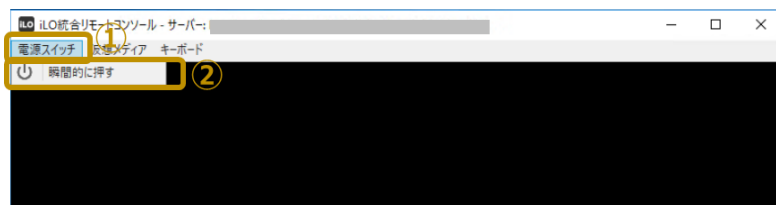
### [step.p-05] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。  
具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの「電力&温度」 → 「サーバー電源」 → 「瞬間的に押す」をクリックする。



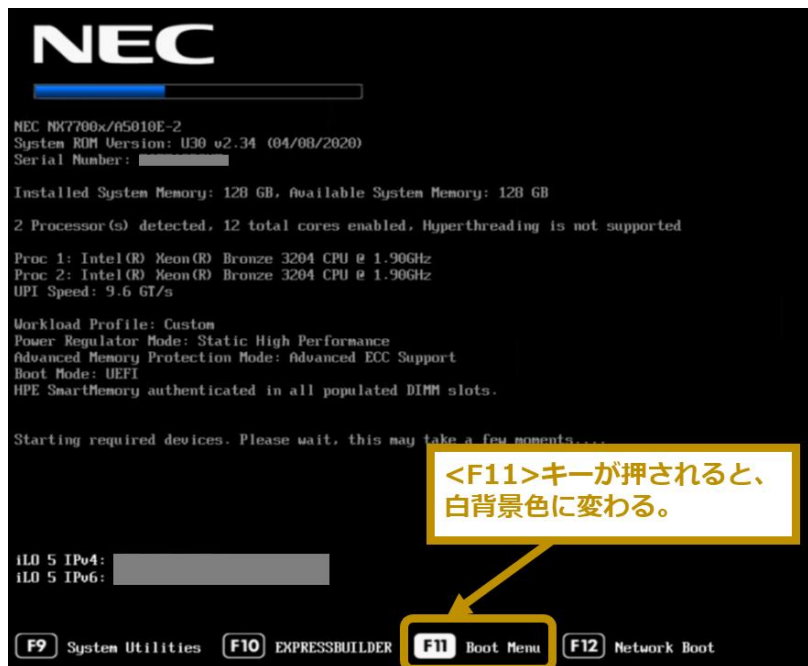
- リモートコンソールの「電源スイッチ」 → 「瞬間的に押す」をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.p-06] Boot Menu の起動

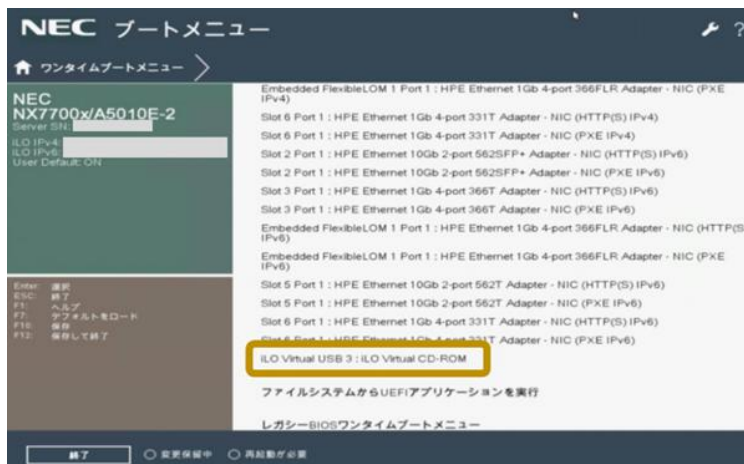
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



## [step.p-07] Starter Pack の起動

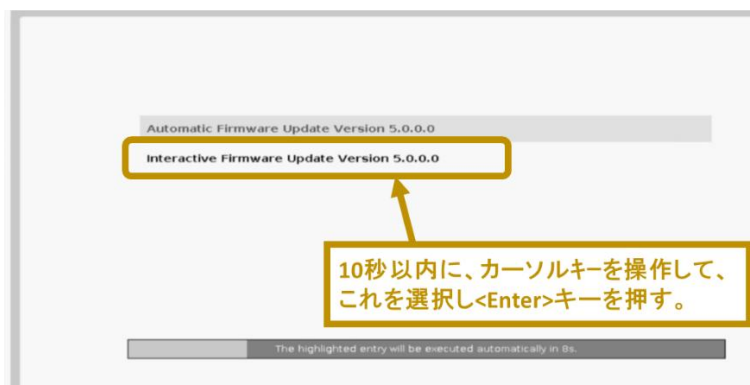
### A. 起動デバイスの選択


リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



### B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。




 **重要** 10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

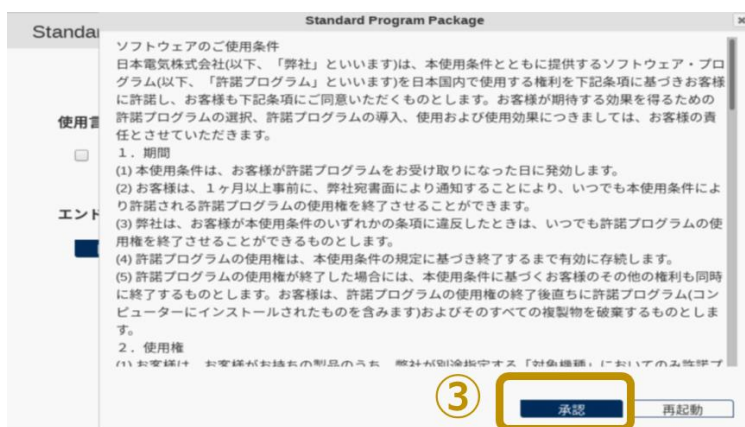
### C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



 **ヒント** 上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。

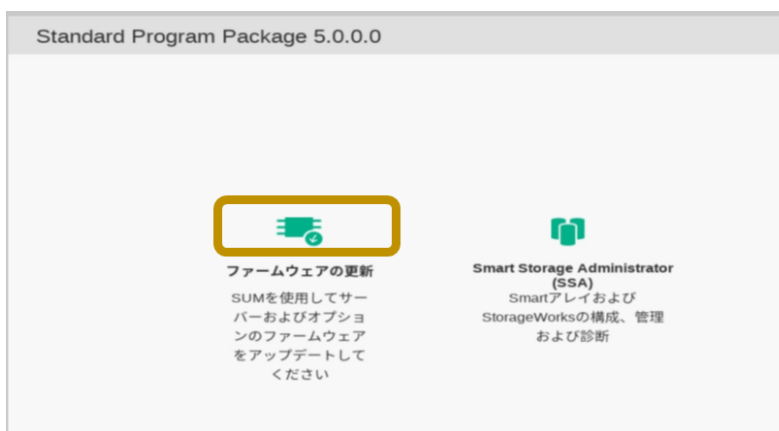



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




### [step.p-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



 <b>重要</b>	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、<b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし <b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 <b>OFF</b> した上で再実行願います。</p>
--	---

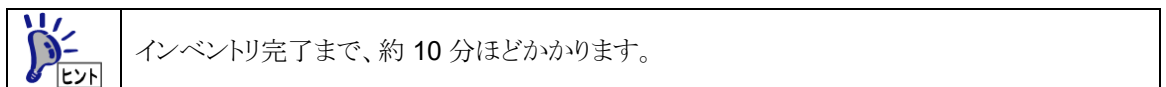
 <b>ヒント</b>	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>
---	--



### [step.p-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。




### [step.p-10] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	●	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1cbb97ff0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-ric-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-powerc-1.0.4-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-2de15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必須

 **ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-7 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(P)~>に記載します。

**Table 6-7 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(P)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-smartarray-2de1...) (firmware-smartarray-1f19...)	SAS Expander	(*01)

(\*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(\*01) 使用する Starter Pack に依って、何れかのパッケージ名称となります。

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



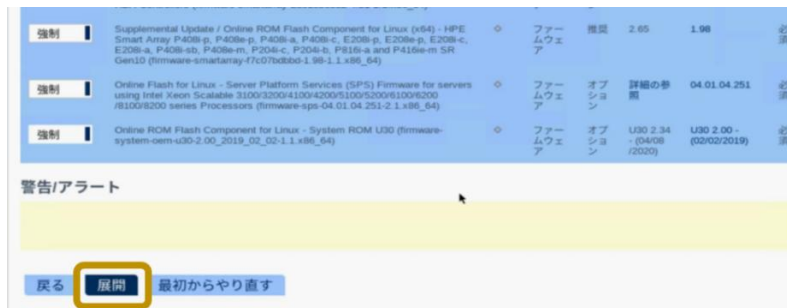
- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-2.44-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	2.44	2.44	いいえ
<input type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpic-1.0.7-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.7	オプション
<input type="checkbox"/>	Language					2.44	いいえ
<input type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	U30 2.42 - (01/23 /2021)	U30 2.42 - (01/23/2021)	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 2Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE iLO/Smart Array Controllers (firmware-smartarray-2de15b6882-5.08-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.08	必須
<input type="checkbox"/>	Online Flash (firmware-smartarray-2de1... ) あるいは (firmware-smartarray-1f19... ) の文字列を含んでいるパッケージのここを、						
<input type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.27.6	必須

## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



### [step.p-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

#### B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

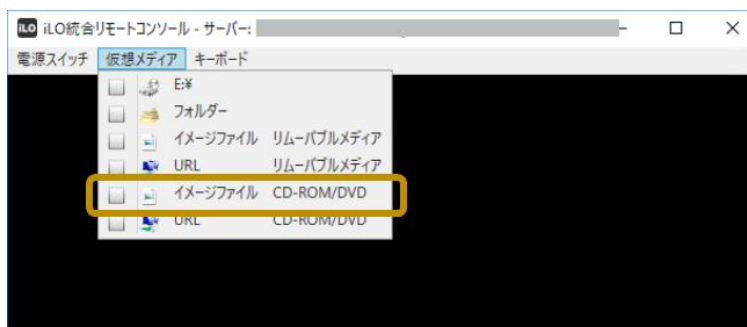
展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。



### C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、**Starter Pack** のマウントを解除します。  
 具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]に  
 チェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



### D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。  
 そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



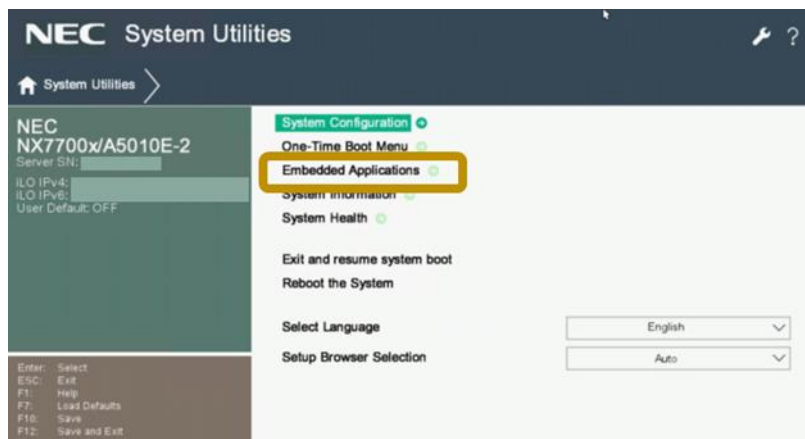
### [step.p-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して **System Utilities** を起  
 動します。



### [step.p-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.p-14] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```



**[step.p-15] 本体装置の AC OFF → ON**

FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

**A. 本体装置の AC OFF**

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。



本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯しません。  
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

**B. 本体装置の AC ON**

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。


そして、本体装置が AC ON 完了するまで待合せます。  
具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待合せます。



本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。  
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。  
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置を電源 OFF してください。

以上で、【ケース P】追加ファームウェア更新作業は終了です。


## 6.4. 【ケース Q】追加ファームウェア更新手順

 **重要** 本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。

- Starter Pack (S8.80-005.01) を使ってファームウェア更新をおこなった。
- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載しており、且つ下記ファームウェアバージョンのオプション製品が1つ以上存在する。

対象オプション製品	対象ファームウェアバージョン
[NE3304-172] 1000BASE-T接続LOM カード(4ch)	1.2836.0 未満
[NE3304-180] 1000BASE-T 接続ボード(2ch)	
[NE3304-181] 1000BASE-T 接続ボード(4ch)	
[NE3304-175] 10GBASE-T接続LOMカード(2ch)	10.54.4 未満
[NE3304-184] 10GBASE-T 接続ボード(2ch)	
[NE3304-176] 10GBASE-SFP接続LOMカード(2ch)	10.54.7 未満
[NE3304-186] 10GBASE 接続基本ボード(SFP+/2ch)	

ファームウェアバージョンの確認方法は、<8.1 ファームウェアバージョン確認方法>を参照してください。

 **ヒント** Starter Pack (S8.80-005.01) を使ってファームウェア更新する際、上述のオプション製品のファームウェアバージョンが上述バージョンである場合は、Starter Pack (S8.80-005.01) に収録されているファームウェアは使用せず、代わりに、Starter Pack (S8.80-004.01) に収録されているファームウェアを使用します。そのため、本章記載の作業が必要になります。

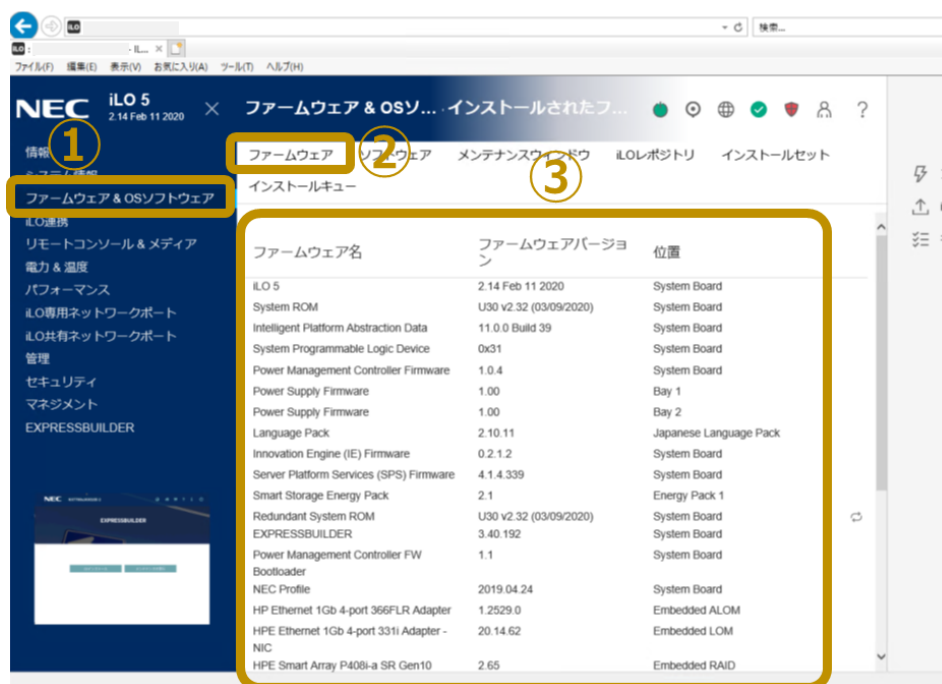
尚、上述のオプション製品のファームウェアバージョンが上述バージョン以外である場合は、本章記載の作業をおこなわないでください。

### [step.q-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。  
具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.q-02] ファームウェアバージョンの確認


iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366FLR	1.2836.0 以上	
HPE Ethernet 10Gb 2p 562FLR-T	10.54.4 以上	
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+	10.54.7 以上	
HPE Ethernet 1Gb 2-port 361T	1.2836.0 以上	
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366T	1.2836.0 以上	
HPE Ethernet 10Gb 2p 562T	10.54.4 以上	
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+	10.54.7 以上	
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、追加ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース Q】追加ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、追加ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

 **ヒント** 本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。(表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)

### [step.q-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.q-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-004.01) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

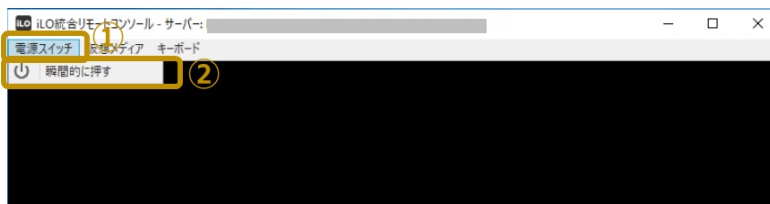
### [step.q-05] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。  
 具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



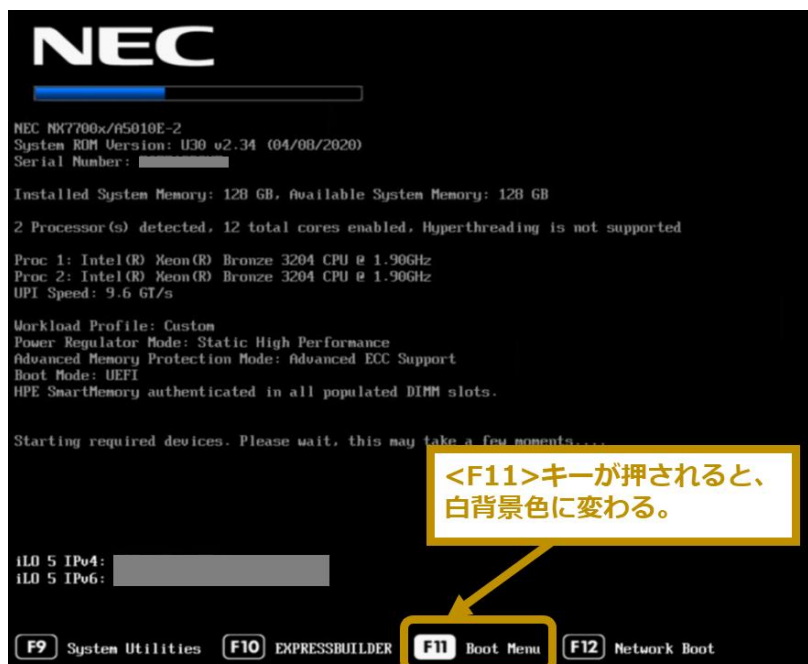
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.q-06] Boot Menu の起動

本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



<F11>キーが押されると、  
 白背景色に変わる。

## [step.q-07] Starter Pack の起動

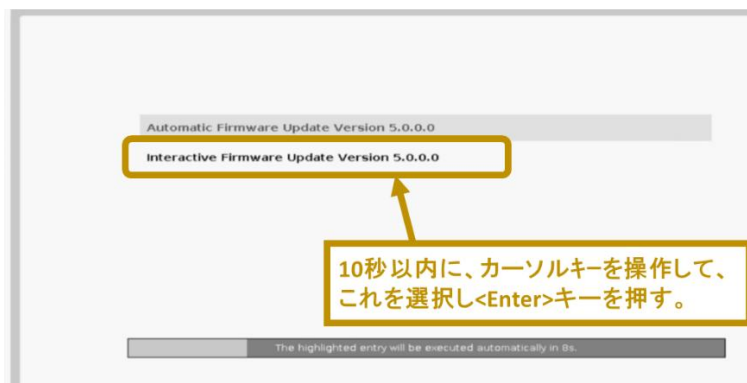
### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3: iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



### B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。




**重要** 10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update ...」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

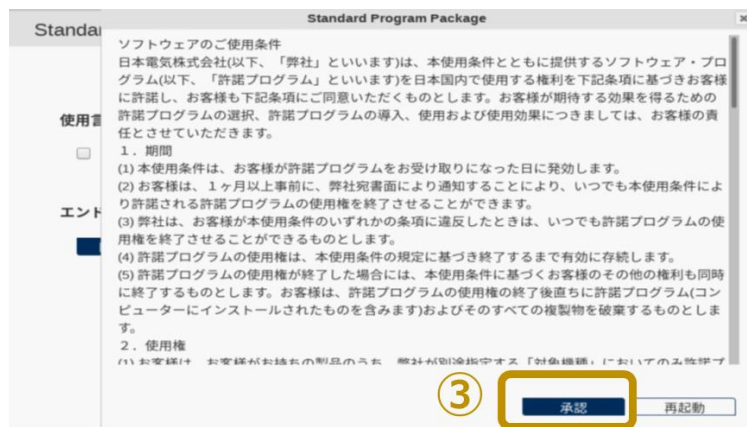
### C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



 ヒント 上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。

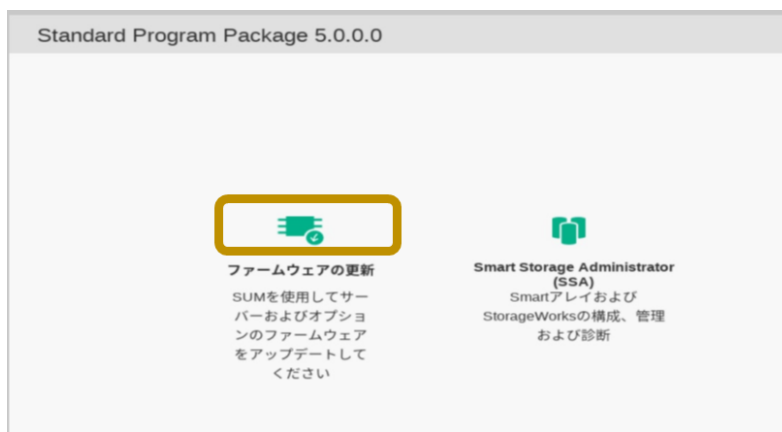



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。





### [step.q-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



 <b>重要</b>	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、<b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし <b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	--

 <b>ヒント</b>	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>
	

### [step.q-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。

## [step.q-10] ファームウェアの選択

### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-rc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH4000JDX3A, EH4050JDX3B, and EH4060JDX3C Drives (firmware-hdt-1cta897f0-HPDS-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPDS	環境に依存
<input checked="" type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ic-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-80-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nc-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<input checked="" type="checkbox"/>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerpc-1.0.4-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30a1368802-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必須



上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-8 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(Q) ~>に記載します。

**Table 6-8 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(Q)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-nic-intel- ...)	NIC (1G, T) NIC (10G, T) NIC (10G, SFP)	
(*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。		

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c3bab97f0-HPD5-3.1.x86_64)					HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)					0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	U30 2.54 - (09/03 /2021)	U30 2.42 - (01/23/2021)	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-2de15b6882-5.08-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.08	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array Gen10 (firmware-smartarray-77c07dbdbd-3.53-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照		必須
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.27.6	必須
<b>強制</b>	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.21.6	必須
<b>強制</b>	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.21.6	必須
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.2.0-1.1.x86_64)		ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.2.0	必須
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04.01.04.423-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	04.01.04.423	必須

それ以外のパッケージのここを、「選択」または「強制」に変更する。

(firmware-nic-intel-...) の文字列を含んでいるパッケージのここを、「選択済み」または「強制」に変更する。

## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



## [step.q-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

### B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。

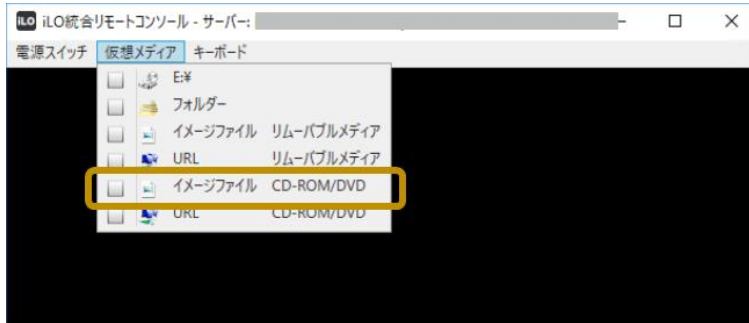


### C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウントを解除します。  
具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]に

チェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



#### D. 本体装置の再起動

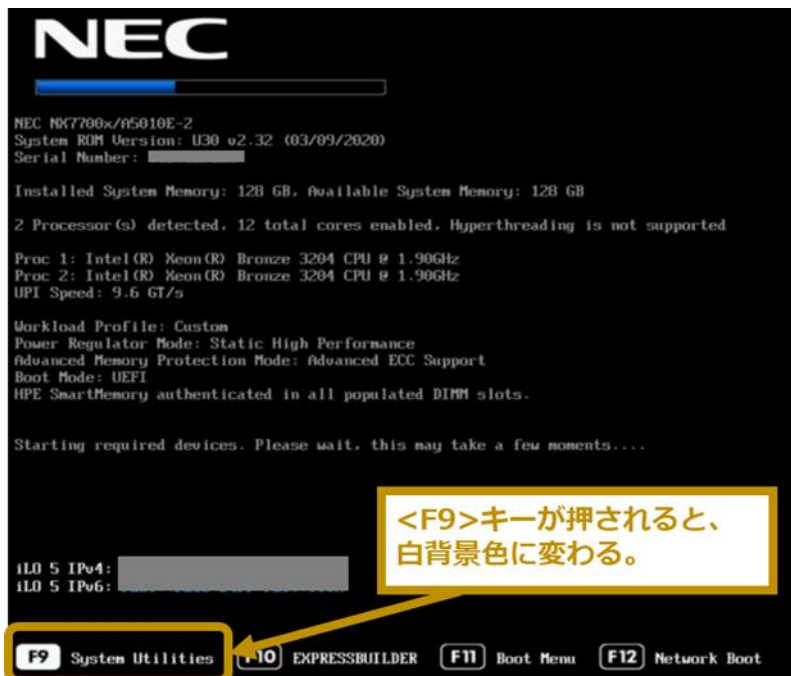
下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。

そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



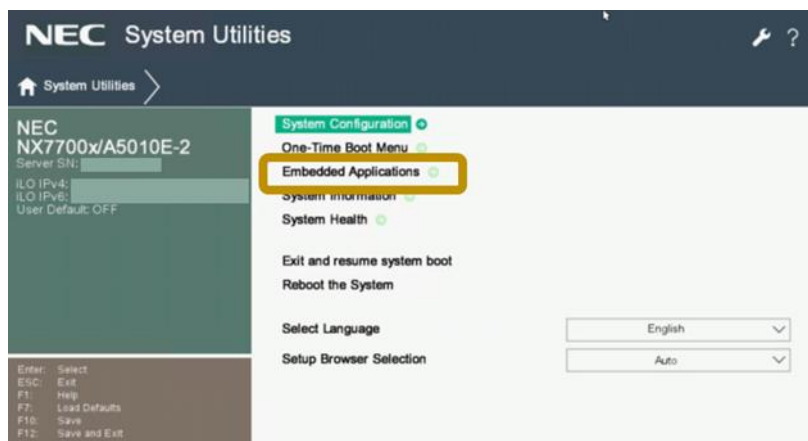
#### [step.q-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



#### [step.q-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.q-14] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```



### [step.q-15] 本体装置の AC OFF → ON

FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

#### A. 本体装置の AC OFF

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。



ヒント

本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯しません。  
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

#### B. 本体装置の AC ON

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。

そして、本体装置が AC ON 完了するまで待合せます。  
具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待合せます。





ヒント

本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。  
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。  
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置を電源 OFF してください。

以上で、【ケース Q】追加ファームウェア更新作業は終了です。

## 6.5. 【ケース R】 追加ファームウェア更新手順

 <b>重要</b>	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.03 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。</li> </ul>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象オプション製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[NE3390-163]</td> <td>Fibre Channel コントローラ(1ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-164]</td> <td>Fibre Channel コントローラ(2ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-171]</td> <td>Fibre Channel コントローラ(1ch)</td> </tr> <tr> <td>[NE3390-172]</td> <td>Fibre Channel コントローラ(2ch)</td> </tr> </tbody> </table>	対象オプション製品		[NE3390-163]	Fibre Channel コントローラ(1ch)	[NE3390-164]	Fibre Channel コントローラ(2ch)	[NE3390-171]	Fibre Channel コントローラ(1ch)	[NE3390-172]
対象オプション製品										
[NE3390-163]	Fibre Channel コントローラ(1ch)									
[NE3390-164]	Fibre Channel コントローラ(2ch)									
[NE3390-171]	Fibre Channel コントローラ(1ch)									
[NE3390-172]	Fibre Channel コントローラ(2ch)									

 <b>ヒント</b>	<p>Starter Pack (S8.80-005.03 未満) を使ってファームウェア更新する際、上記オプション製品のファームウェアについては、Starter Pack (S8.80-005.03 未満) に収録されているファームウェアは使用せず、代わりに、Starter Pack (S8.80-005.03) に収録されているファームウェアを使用します。そのため、本章記載の作業が必要になります。</p>
---	--

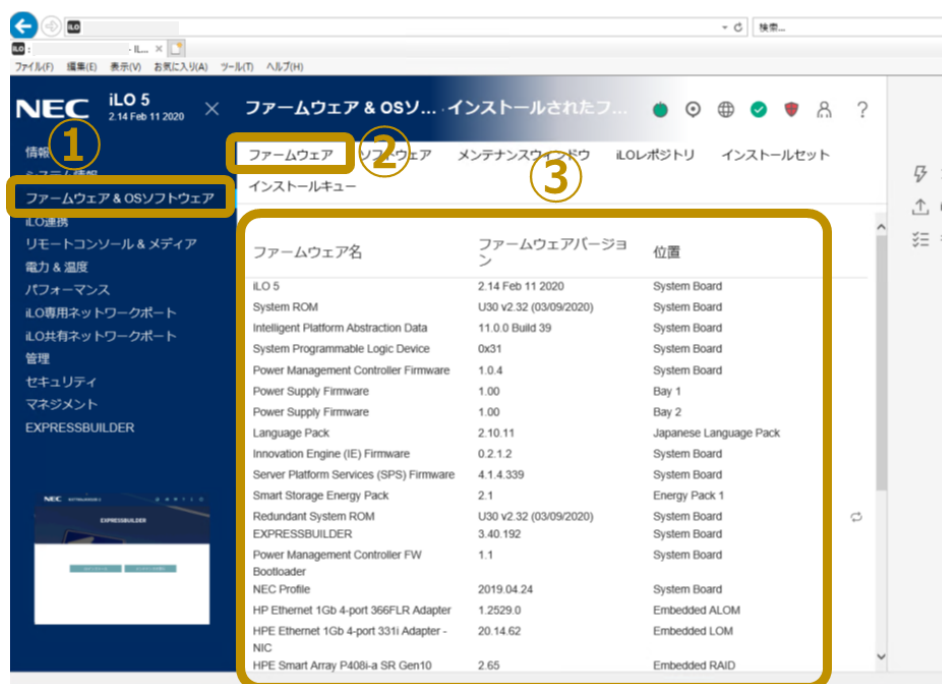
### [step.r-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.r-02] ファームウェアバージョンの確認


iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE SN1200E 16Gb 1p FC HBA	12.8.528.21	[NE3390-163]
HPE SN1200E 16Gb 2p FC HBA		[NE3390-164]
HPE SN1600E 32Gb 1p FC HBA		[NE3390-171]
HPE SN1600E 32Gb 2p FC HBA		[NE3390-172]
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、追加ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース R】追加ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、追加ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

 ヒント	本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。 表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。 (表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)
--	--

### [step.r-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
 具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.r-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.03) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
 具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

### [step.r-05] 本体装置 電源 ON

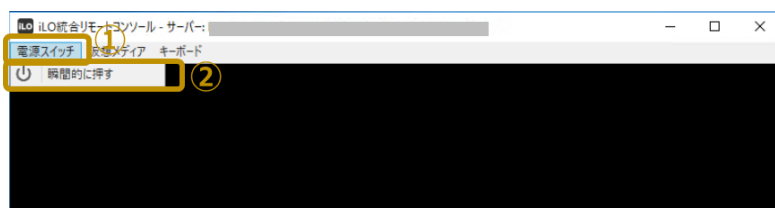
本体装置の電源を ON します。

具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



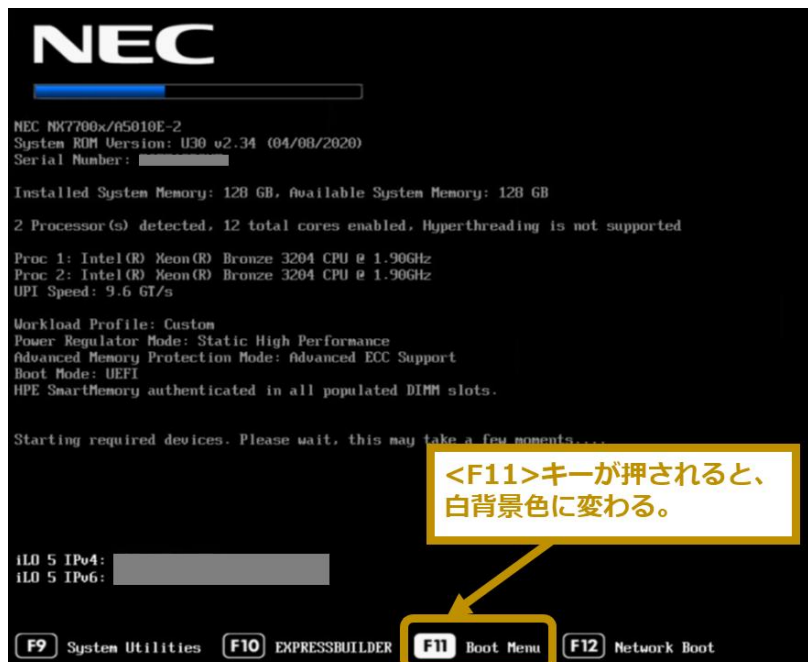
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.r-06] Boot Menu の起動

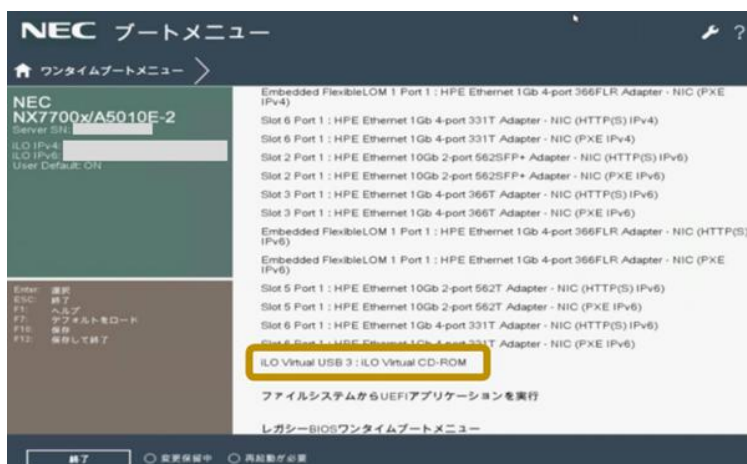
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



### [step.r-07] Starter Pack の起動

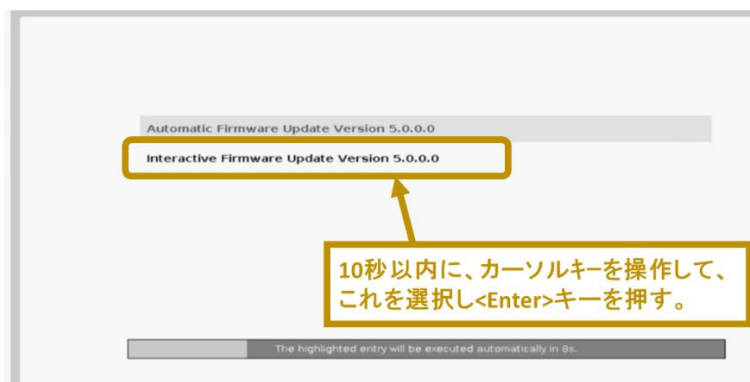
#### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. Interactive モードの選択

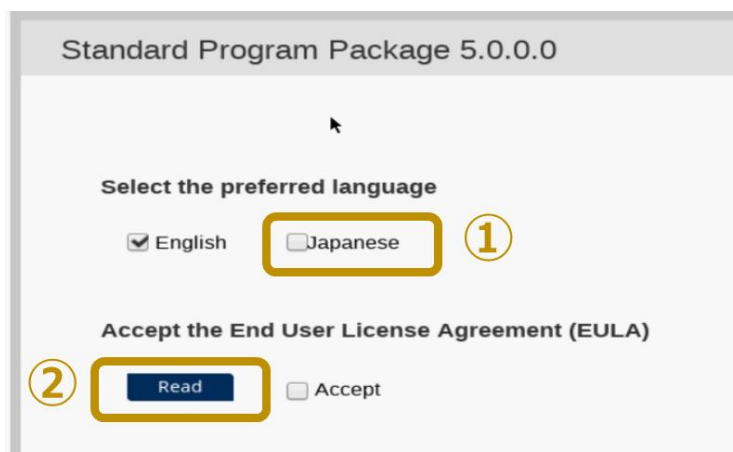
下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update …」を選択し、<Enter キー>を押します。



10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

## C. ソフトウェア使用許諾

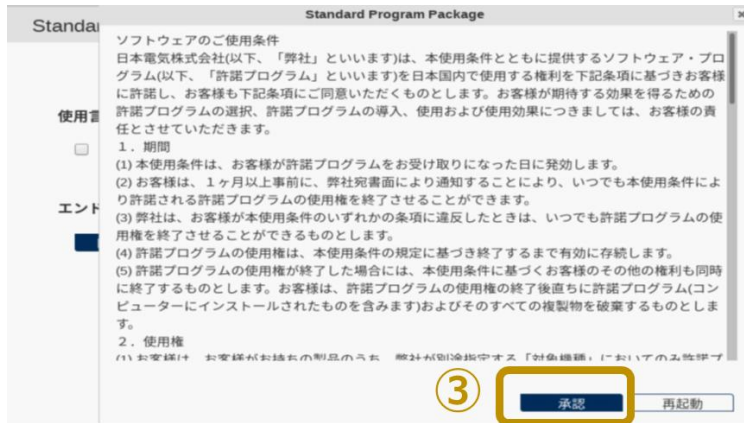
しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。





上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。



### [step.r-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。

	<p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	---

下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。

ローカルホストガイドアップデート

1

ベースラインまたはインストールセット

追加インストールキュー

ベースラインの選択

(オプション)このノードに適用する追加済みのベースラインおよびまたは追加パッケージを選択してください。SUMが実行中の位置がデフォルトとして使用されます。

現在選択されているベースライン

現在の追加パッケージ

異なるベースラインの割り当て

2  
OK 終了

### [step.r-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。

ローカルホストガイドアップデート

終了  
アクション ▼

手順 1  
インベントリ

手順 2  
レビュー

手順 3  
完了

ベースラインおよびノードのインベントリ

▼ ベースラインのインベントリ

■ Standard Program Package ベースラインが正常に追加されました コンポーネント合計 651

▼ ローカルホストのインベントリ

■ localhost インベントリ完了 1 アップデートが必要です。

次へ
中止
最初からやり直す
再起動

	<p>インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。</p>
--	----------------------------------


### [step.r-10] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)	●	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hd0-1c3ab97ff0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE iLO5 S+S Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.98	必須

 **ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 6-9 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(R)~>に記載します。

**Table 6-9 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(R)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-fc-emulex- ...)	FC	

(\*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。



- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



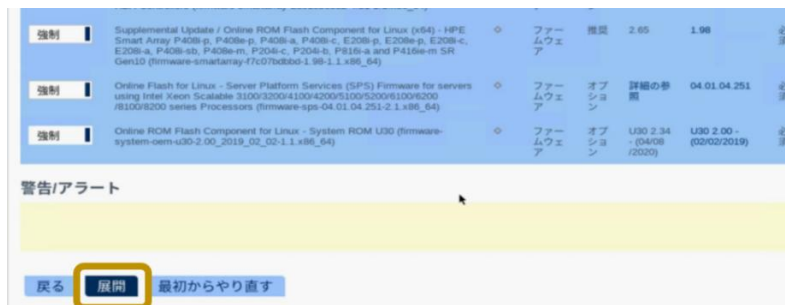
コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-2.65-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	2.72	2.65	いいえ
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-rom-u30-2.68-0714-2022)					U30 2.68 - (07/14/2022)	必須
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nx1-broadcom-2.29.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2.29.0	必須
<b>強制</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux x86_64 (firmware-fc-emulex-2022.03.01-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2022.03.01	必須
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.3.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	0.2.3.0	必須

それ以外のパッケージのここを、**選択** または **強制** に変更する。

(firmware-fc-emulex- ...) の文字列を含んでいるパッケージのここを、**選択済み** または **強制** に変更する。

## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



### [step.r-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

## B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。

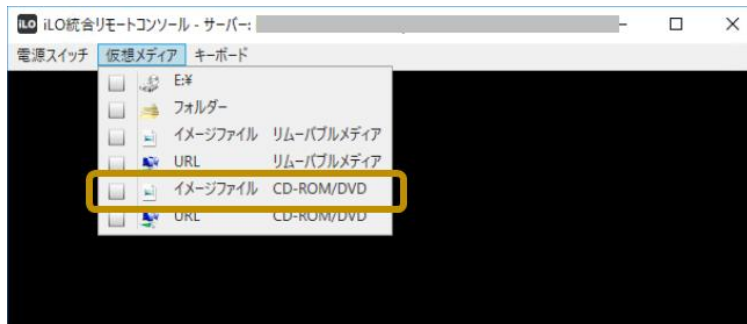


## C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウントを解除します。

具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



## D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。

そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



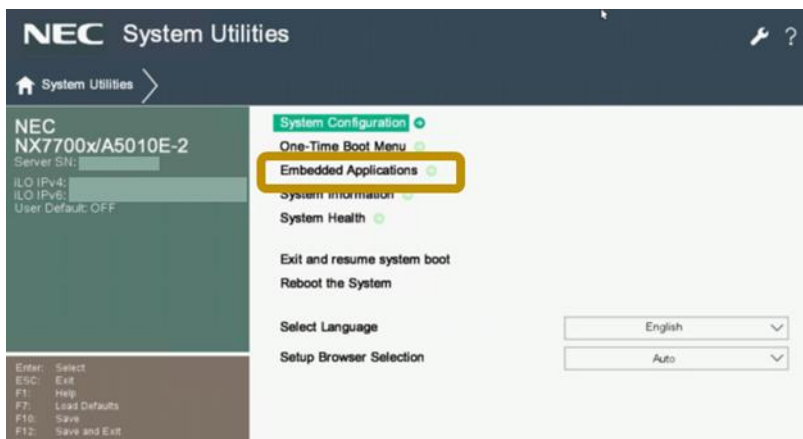
### [step.r-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



### [step.r-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.r-14] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```



**[step.r-15] 本体装置の AC OFF → ON**

FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

**A. 本体装置の AC OFF**

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。



本体装置が電源 OFF だと、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯しません。  
電源 ON だと、POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。

**B. 本体装置の AC ON**

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。



そして、本体装置が AC ON 完了するまで待合せます。  
具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待合せます。




本体装置によっては、AC-Link 機能が有効となっており、AC ON に連動して電源 ON される場合があります。  
電源 ON された場合は、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯します。  
電源 ON されてしまった場合には、本体装置前面の POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置を電源 OFF してください。

以上で、【ケース R】追加ファームウェア更新作業は終了です。

## 6.6. 【ケース S】追加ファームウェア更新手順

 <b>重要</b>	<p>本作業は、下記条件を全て満たす場合のみ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新をおこなった。</li> <li>- 下記いずれかのオプション製品を装置搭載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [NE3303-190] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-191] RAID コントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-201] RAID コントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6)</li> <li>・ [NE3303-197] SAS コントローラ</li> </ul> </li> <li>- 上記オプション製品のファームウェアバージョンが「<b>5.61 以外</b>」である。</li> </ul>
 <b>ヒント</b>	<p>ファームウェアバージョンの確認方法は、  &lt;8.1 ファームウェアバージョン確認方法&gt;を参照してください。</p>

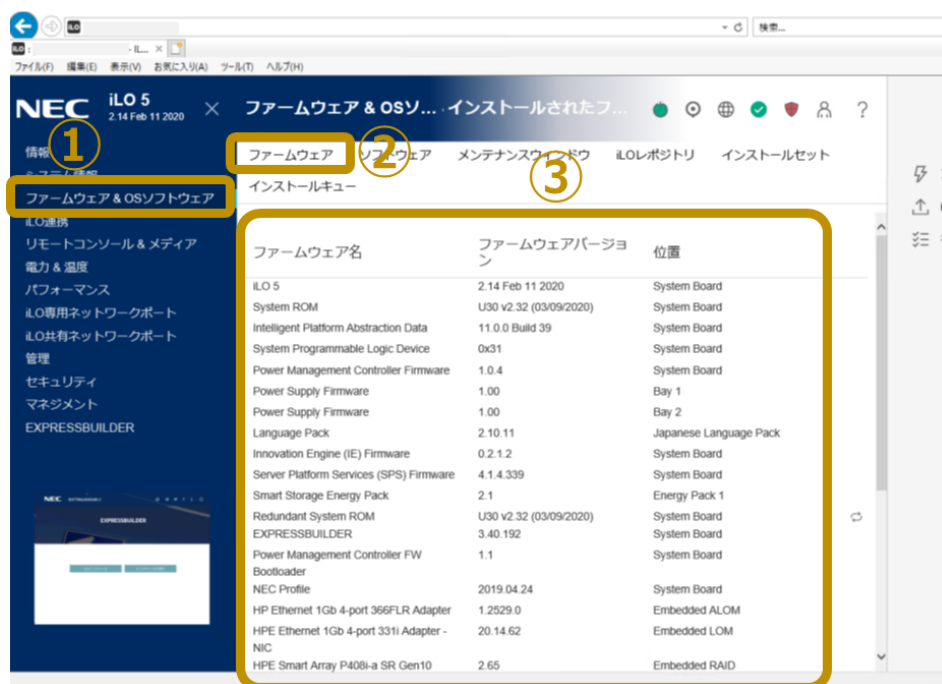
 <b>ヒント</b>	<p>Starter Pack (S8.80-005.08 未満) を使ってファームウェア更新する場合、上記オプション製品のファームウェアは、バージョン「<b>5.61</b>」を適用します。</p> <p>但し、バージョン「<b>5.61 以上</b>」への更新には、下記制約があります。</p> <p><b>【制約】</b> バージョン「<b>5.61 以上</b>」への更新は、バージョン「<b>5.32 以上</b>」からのみ可能。  バージョン「<b>5.32 未満</b>」からは不可。</p> <p>即ち、バージョン「<b>5.32 未満</b>」から「<b>5.61 以上</b>」へ更新する場合は、  <b>{5.32 未満 → 5.32 → 5.61 以上}</b> と 2 段階で更新しなければなりません。</p> <p>そして、その第 2 段階の <b>{5.32 → 5.61}</b> へ更新する際、Starter Pack (S8.80-005.08) が必要になります。</p> <p>(参考) Starter Pack (S8.80-005.08) に、バージョン「<b>5.61</b>」が収録されています。</p>
---	--

### [step.s-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。  
具体的な手順は、前記<5.1 iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.s-02] ファームウェアバージョンの確認

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE Smart Array P408i-a SR Gen10	5.61	[NE3303-190]
HPE Smart Array P816i-a SR Gen10		[NE3303-191]
HPE Smart Array P408i-p SR Gen10		[NE3303-201]
HPE Smart Array E208e-p SR Gen10		[NE3303-197]
(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。		

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、追加ファームウェア更新は不要です。  
以上で、【ケース S】追加ファームウェア更新作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、追加ファームウェア更新が必要です。  
以降の作業を実施してください。

**ヒント** 本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。  
表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。  
(表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)

### [step.s-03] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.s-04] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.08) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
具体的な手順は、前記<5.3 Starter Pack のマウント方法>を参照してください。

### [step.s-05] 本体装置 電源 ON

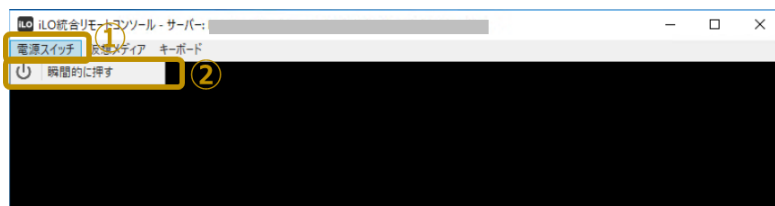
本体装置の電源を ON します。

具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



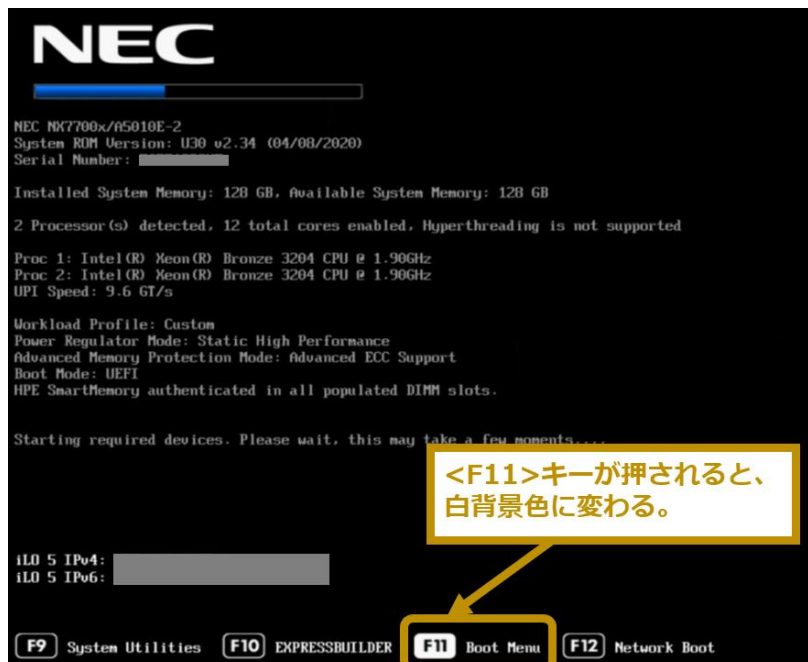
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.1.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.s-06] Boot Menu の起動

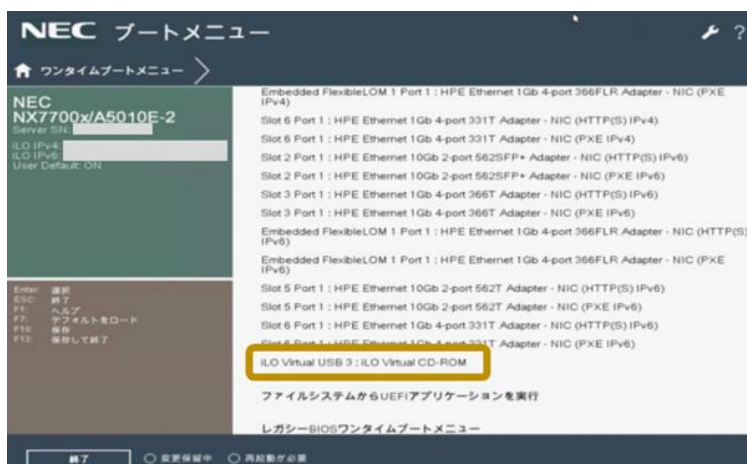
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



### [step.s-07] Starter Pack の起動

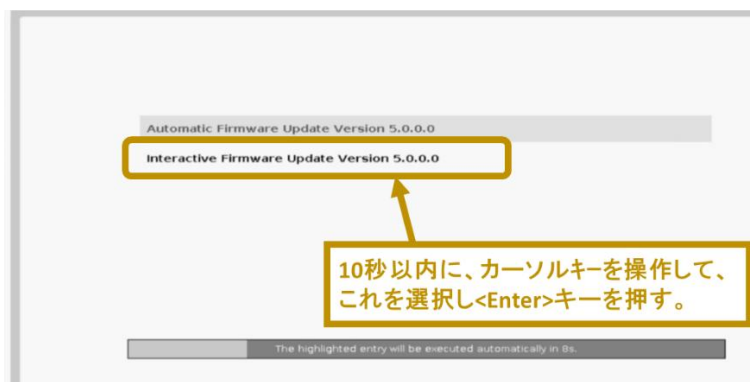
#### A. 起動デバイスの選択

リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. Interactive モードの選択

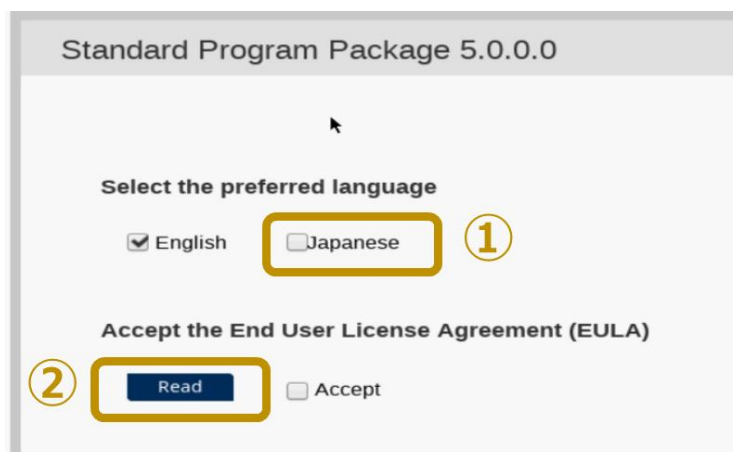
下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。



10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update ...」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。

## C. ソフトウェア使用許諾

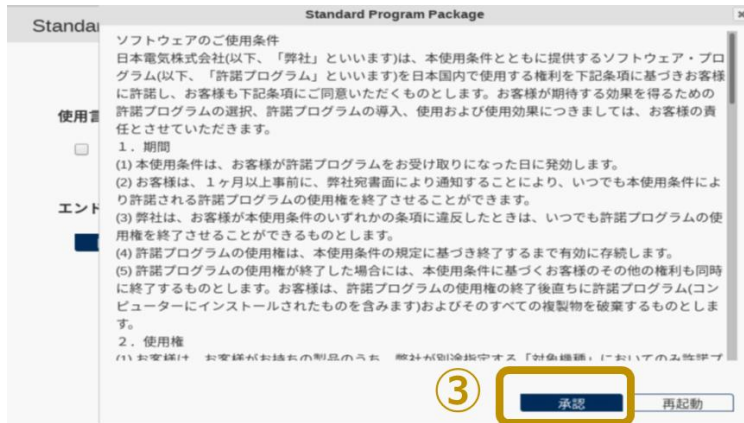
しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。





上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。



最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




### [step.s-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。

	<p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし Smart Update Manager (SUM) ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 OFF した上で再実行願います。</p>
--	---



下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。

ローカルホストガイドアップデート

1

ベースラインまたはインストールセット

追加インストールキュー

ベースラインの選択

(オプション)このノードに適用する追加済みのベースラインおよびまたは追加パッケージを選択してください。SUMが実行中の位置がデフォルトとして使用されます。

現在選択されているベースライン

現在の追加パッケージ

異なるベースラインの割り当て

2  
OK 終了

### [step.s-09] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。

ローカルホストガイドアップデート

終了  
アクション ▼

**手順 1**  
インベントリ

手順 2  
レビュー

手順 3  
完了

ベースラインおよびノードのインベントリ


▼ ベースラインのインベントリ

■ Standard Program Package ベースラインが正常に追加されました コンポーネント合計 651

▼ ローカルホストのインベントリ

■ localhost インベントリ完了 1 アップデートが必要です。

次へ
中止 2
最初からやり直す
再起動

	<p>インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。</p>
---	----------------------------------

### [step.s-10] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。

手順 1 インベントリ | **手順 2 レビュー** | 手順 3 展開

展開サマリー


▼ localhost 適用可能なコンポーネント

適用可能なコンポーネント: 11  
 推奨されたコンポーネント: 1  
 選択されたコンポーネント: 1

すべて選択  すべて選択解除

検索

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c3ab97ff0-HPD5-3.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)		ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)		ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powercap-1.0.4.1.1.x86_64)		ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-30e15b6882-4.21-1.1.x86_64)		ファームウェア	オフシヨ	詳細の参照	4.21	必須

 **ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記< Table 6-10 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(S)~>に記載します。

**Table 6-10 更新対象ファームウェア(パッケージ) ~追加(S)~**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(HPE_SR_Gen10_...) (HPE_E208e-p_...)	RAID/SAS [NE3303-190/191/201/197]	(*01)

(\*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

(\*01) 何れかのパッケージ名称、或いは両方のパッケージ名称が表示されます。

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01-1.29.x86_64)		ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c3ab97ff0-HPD5-3.1.x86_64)					HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)					0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)		ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ

※ 上記の「強制」ボタンを黄色い枠で囲み、黄色い矢印で「ここを確認」という注釈が付けられています。

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または

「強制 (青色バー)」に変更してください。



**重要**

更新対象ファームウェア(パッケージ)が複数表示されている場合は、

- 何れか 1 つのファームウェア(パッケージ)のみ **選択済み** または **強制** に変更(設定)し、
- その他ファームウェア(パッケージ)は、**選択** または **強制** に変更(設定)してください。

- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-ilo5-lpk-ja-en11-2.72-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	2.72.08	2.72	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x86) - HPE Smart Array P408e-p, P408e-s, P408e-c, E208e-p, E208e-c, E208e-a, P408e-b, P408e-m, P204e-c, P204e-b, P816e-a and P416e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bcb0-1.9b-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.14	必須
<b>強制</b>	ROM Flash Firmware Package - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200 /R100/8200 series Processors (CEM.IEGen10_0.2.3.0)	◇	ファームウェア	推奨	0.2.3.0	0.2.3.0	必須
<b>強制</b>	Firmware Package - HPE Gen10 E208e-p controller for Gen11 servers	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須
<b>選択済み</b>	HPE_E208e-p_Gen11_5.61_A	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須
<b>選択</b>	HPE_SR_Gen10_5.61_C	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.61	必須

それ以外のパッケージのここを、**選択** または **強制** に変更する。

(HPE\_SR\_Gen10\_...)あるいは(HPE\_E208e-p\_...)の文字列を含んでいるパッケージの何れか1つのここを **選択済み** または **強制** に変更(設定)し、他1つのここを **選択** または **強制** に変更(設定)する。

## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。

### [step.s-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。



全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

## B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」と表示されます。

展開が完了しましたら、更新対象ファームウェア(パッケージ)の左端に表示されているステータスアイコン(②箇所)が全て緑色であることを確認してください。

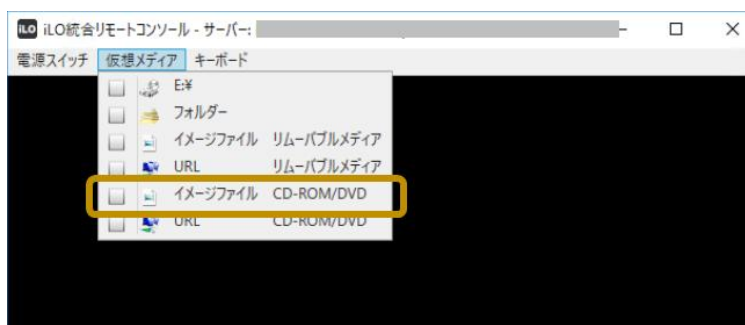


## C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウントを解除します。

具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



## D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。  
 そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



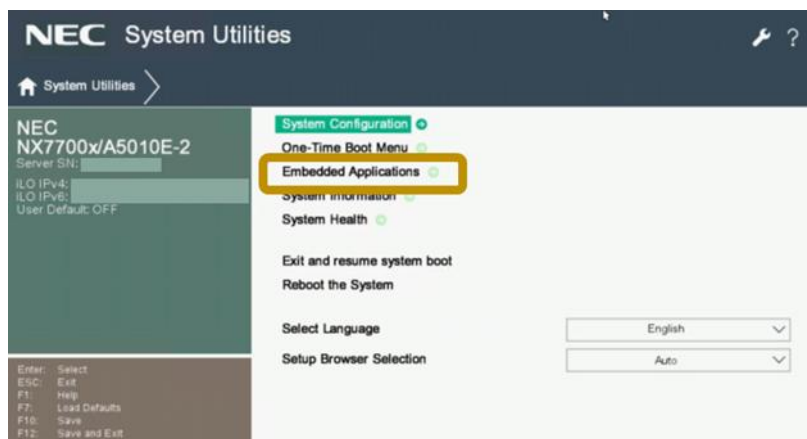
### [step.s-12] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



### [step.s-13] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」→「Embedded UEFI Shell」を選択します。



**[step.s-14] 本体装置の電源 OFF**

リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```



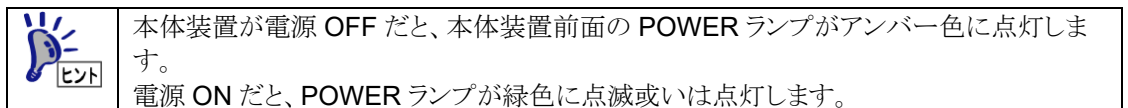
```
UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.60 (NEC, 0x00020000)
Press any key in 0 seconds for User Physical Presence.
User Physically Present: No!
Shell>
Shell>
Shell>
Shell> reset -s
```

**[step.s-15] 本体装置の AC OFF → ON**

FW 更新を適切にデバイスに反映させるために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

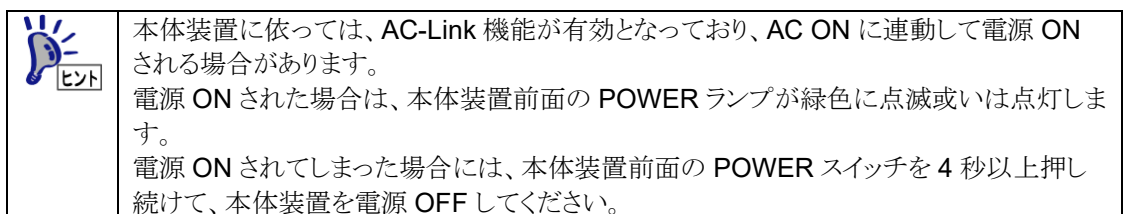
**A. 本体装置の AC OFF**

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。

**B. 本体装置の AC ON**

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。

そして、本体装置が AC ON 完了するまで待合せます。  
具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待合せます。



以上で、【ケース S】追加ファームウェア更新作業は終了です。

## 7. トラブルシューティング

Table 7-1 トラブルシューティング一覧

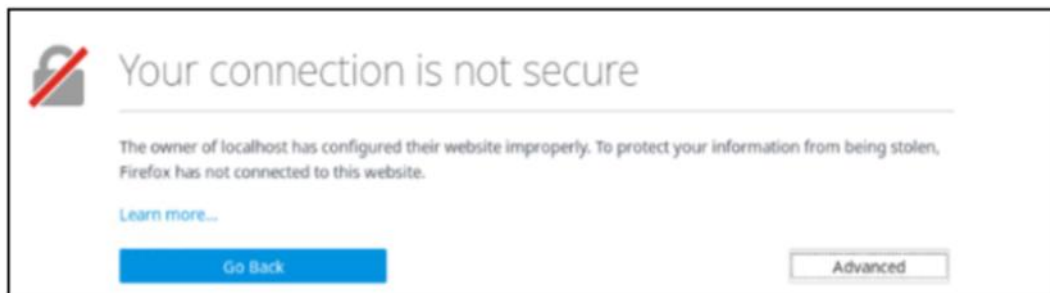
No.	トラブル概要
<a href="#">TS-001</a>	「Your connection is not secure」エラーが起きる
<a href="#">TS-002</a>	(firmware-nic-intel- ...) パッケージのファームウェア更新がエラーする

### 7.1. [TS-001] 「Your connection is not secure」エラーが起きる

#### 7.1.1. 現象

使用 Starter Pack	全て
発生タイミング (*a)	[step.1-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動 [step.2-06] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動 [step.p-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動 [step.q-08] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動
(*a) 対象ファームウェア更新ガイドにおいて、現象が起きた手順箇所を表す。	

Starter Pack を起動すると、以下のエラーが起きて先に進めなくなる。



#### 7.1.2. 対処

下記手順を実施してください。

- (1) 上記画面上の「Advanced」をクリックします。
- (2) 画面上の「Add Exception ...」をクリックします。
- (3) ポップアップ表示された「Add Security Exception」画面で、「Confirm Security Exception」をクリックします。

## 7.2. [TS-002] (firmware-nic-intel- …) パッケージのファームウェア更新がエラーする

### 7.2.1. 現象

使用 Starter Pack	S8.80-005.03
発生タイミング (*a)	[step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認
(*a) 対象ファームウェア更新ガイドにおいて、現象が起きた手順箇所を表す。	

Starter Pack(S8.80-005.03)を使用してファームウェア更新をおこなったところ、「[step.1-11] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認」のタイミングで、(firmware-nic-intel- …) パッケージのファームウェア更新がエラーする。

具体的には、

下図①箇所が赤アイコン表示となり、「インストールはエラーで終了しました。」と表示される。

且つ、下図②箇所において、(firmware-nic-intel-…)の文字列を含むコンポーネントがエラーする (赤アイコン表示となる)。

#### ①赤アイコン表示となり、「インストールはエラーで終了しました。」と表示される。



#### ②(firmware-nic-intel- …) の文字列を含むコンポーネントがエラーする (赤アイコン表示となる)

### 7.2.2. 対処

対象ファームウェア更新ガイドに沿って最後までおこなった後、再度、(firmware-nic-intel-…)の文字列を含むパッケージだけを選択しファームウェア更新します。

具体的な手順は、<7.2.2.1 対処手順>を参照してください。

#### 7.2.2.1. 対処手順

対象ファームウェア更新ガイドに沿って最後まで行ってください。  
その後、下記作業を行ってください。

#### [step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、対象ファームウェア更新ガイドを参照してください。

### [step.1-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。  
具体的な手順は、対象ファームウェア更新ガイドを参照してください。

### [step.1-03] Starter Pack ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた Starter Pack (S8.80-005.03) ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。  
具体的な手順は、対象ファームウェア更新ガイドを参照してください。

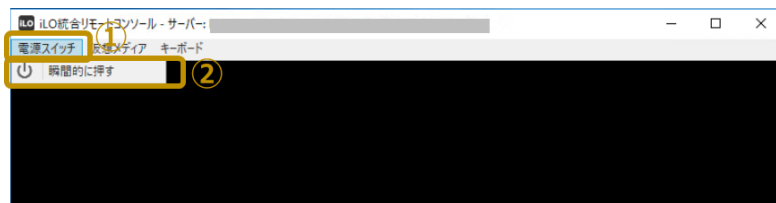
### [step.1-04] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。  
具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースの[電力&温度] → [サーバー電源] → [瞬間的に押す]をクリックする。



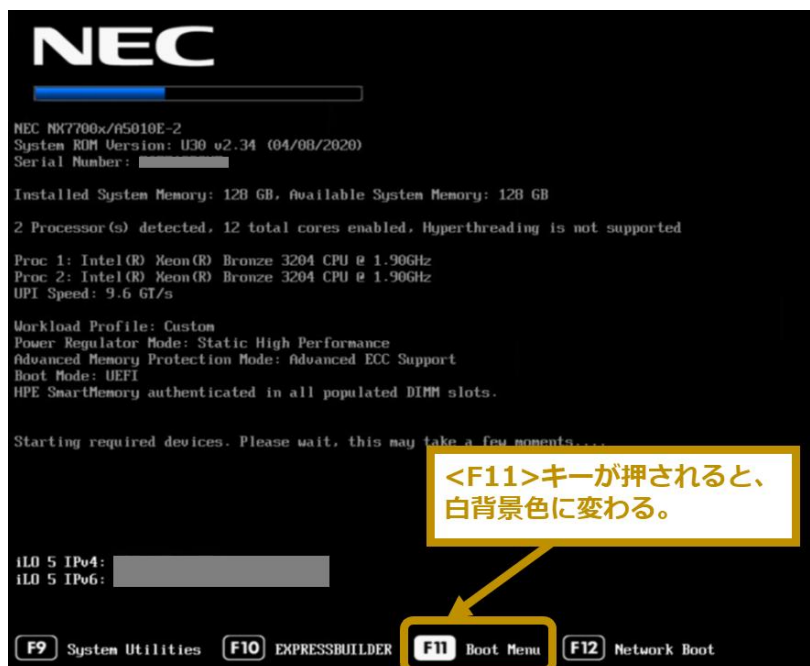
- リモートコンソールの[電源スイッチ] → [瞬間的に押す]をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、対象ファームウェア更新ガイドを参照してください。

### [step.1-05] Boot Menu の起動

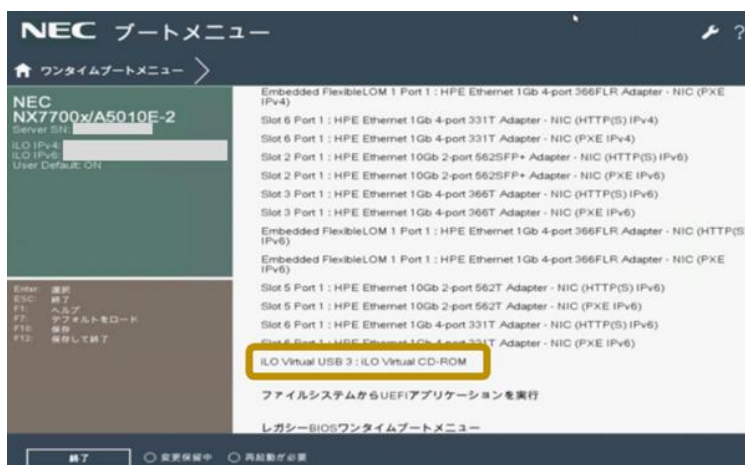
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



## [step.1-06] Starter Pack の起動

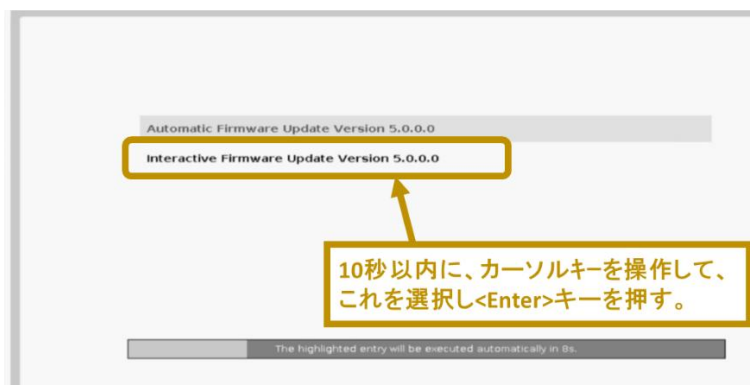
### A. 起動デバイスの選択


リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



### B. Interactive モードの選択

下記画面が表示されたならば、★10 秒以内★に、カーソルキーを操作して、「Interactive Firmware Update ...」を選択し、<Enter キー>を押します。




 <b>重要</b>	10 秒以内に選択操作をしなかった場合、「Automatic Firmware Update …」が選択され、自動的にファームウェア更新が行われてしまいます。
--	---

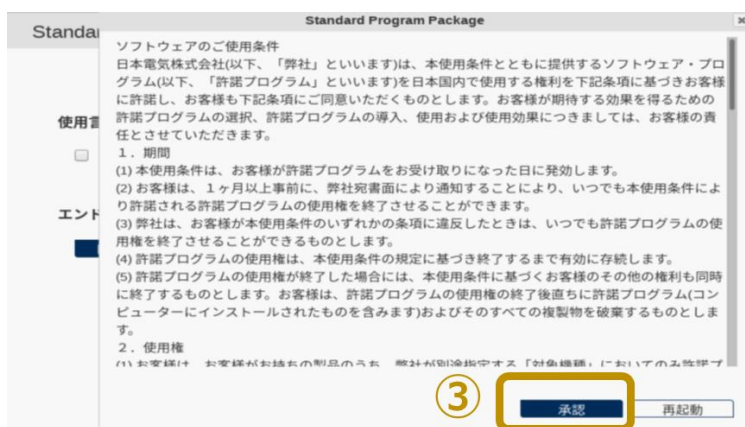
### C. ソフトウェア使用許諾

しばらくすると、下記画面が表示されますので、「Japanese」(①)を選択した後、「Read (開く)」(②)をクリックします。



 <b>ヒント</b>	上記画面が表示されるまで、約 7 分ほどかかります。
---	----------------------------

ソフトウェア使用許諾画面が表示されますので、内容を確認して「承認」(③)をクリックします。




最後に、下記画面が表示されますので、「次へ」(④)をクリックします。




### [step.1-07] ファームウェア更新ソフトウェア(SUM)の起動

下記画面が表示されたならば、「ファームウェアの更新」を選択します。



 <b>重要</b>	<p>上記[ファームウェアの更新]を押下したら、画面遷移するまで、何も操作しないでください。</p> <p>画面遷移しない状態で上記[ファームウェアの更新]を複数回押下すると、<b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまう場合があります。これは期待外の挙動です。</p> <p>もし <b>Smart Update Manager (SUM)</b> ログイン画面が表示されてしまったならば、一旦本体装置を電源 <b>OFF</b> した上で再実行願います。</p>
--	---

 <b>ヒント</b>	<p>下記画面がポップアップ表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」(①)が選択されていることを確認し、そのまま「OK」(②)をクリックしてください。</p>
---	--



### [step.1-08] ファームウェアインベントリの完了待ち

下記「手順 1 インベントリ」画面に切り替わり、ファームウェアのインベントリが開始されます。下記①箇所に「インベントリ完了」と表示されるまで、しばらくお待ちください。

①箇所に「インベントリ完了」と表示されましたら、「次へ」(②)をクリックします。



インベントリ完了まで、約 10 分ほどかかります。


### [step.1-09] ファームウェアの選択

#### A. ファームウェアの選択

下記「手順 2 レビュー」画面が表示され、インベントリされたファームウェアが一覧表示されますので、更新するファームウェアを選択します。



コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01.1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c2ab97f0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ
<b>強制</b>	Language Pack - Japanese (firmware-lpk-ilo-1.30-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.30	いいえ
<b>強制</b>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.23.10-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.23.10	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash for Linux - Advanced Power Capping Microcontroller Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/4100/5100/6100/8100 series Processors (firmware-powerc1-1.0.4-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.0.4	いいえ
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-3de15b6882-4.21-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	4.21	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE	○	ファームウェア	推奨	2.05	1.08	必須

 **ヒント** 上記「手順 2 レビュー」画面の「利用可能なバージョン」欄に表示される情報は、ファームウェアバージョンとは限りませんので、当該情報は無視してください。

更新するファームウェア(パッケージ)を、下記<Table 7-2 更新対象ファームウェア(パッケージ)>に記載します。

**Table 7-2 更新対象ファームウェア(パッケージ)**

パッケージ (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
(firmware-nic-intel- ...)	NIC (1G, T) NIC (10G, T) NIC (10G, SFP)	

(\*a) 「手順 2 レビュー」画面の「パッケージ」欄に表示される文字列の一部です。

「手順 2 レビュー」画面において、「コンポーネントを選択」欄を確認します。

コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	起動が必要
<b>選択済み</b>	HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64) (firmware-fc-emulex-2019.03.01.1.29.x86_64)	■	ファームウェア	推奨	詳細の参照	2019.03.01	必須
<b>強制</b>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - EH0300JDXBA, EH0450JDXBB, and EH0600JDXBC Drives (firmware-hdd-1c2ab97f0-HPD5-3.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	詳細の参照	HPD5	環境に依存
<b>強制</b>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.0.11-2.1.x86_64)	○	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.0.11	必須
<b>強制</b>	Online ROM Flash Component for Linux - iLO 5 (firmware-ilo5-1.40-1.1.x86_64)	○	ファームウェア	推奨	2.14	1.40	いいえ

- 更新対象ファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」に変更してください。



- それ以外の全てのファームウェア(パッケージ)に対して、「コンポーネントを選択」欄が「選択済み (青色バー)」または「強制 (青色バー)」であるならば、当該ボタンをクリックし、「選択 (灰色バー)」または「強制 (灰色バー)」に変更してください。



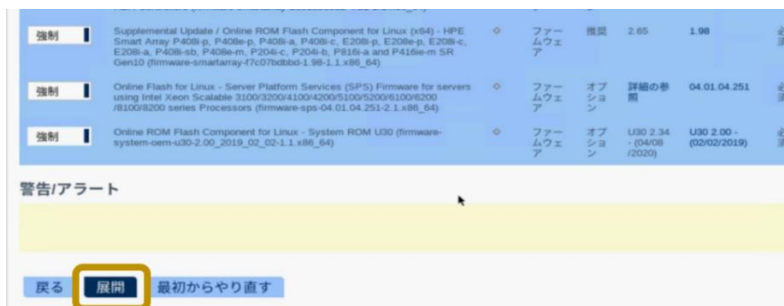
コンポーネントを選択	パッケージ	準備完了	タイプ	重要度	インストール済みバージョン	利用可能なバージョン	再起動が必要
<input type="checkbox"/>	Online ROM Flash Component for Linux - System ROM U30 (firmware-system-oem-u30-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	U30 2.54 - (09/03/2021)	U30 2.42 - (01/23/2021)	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE 12Gb/s SAS Expander Firmware for HPE Smart Array Controllers and HPE HBA Controllers (firmware-smartarray-2de15b6882-5.08-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	5.08	必須
<input type="checkbox"/>	Supplemental Update / Online ROM Flash Component for Linux (x64) - HPE Smart Array P408i-p, P408e-p, P408e-a, P408-c, E208e-p, E208e-c, E208e-a, P408e-sb, P408e-m, P204i-c, P204i-b, P816i-a and P416e-m SR Gen10 (firmware-smartarray-f7c07bdbbd-3.53-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照		必須
<input type="checkbox"/>	HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	2.27.6	必須
<input type="checkbox"/>	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.21.6	必須
<input type="checkbox"/>	HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64 (firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	1.21.6	必須
<input type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Innovation Engine Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-ie-0.2.2.0-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	オプション	詳細の参照	0.2.2.0	必須
<input type="checkbox"/>	Online Flash for Linux - Server Platform Services (SPS) Firmware for servers using Intel Xeon Scalable 3100/3200/4100/4200/5100/5200/6100/6200/8100/8200 series Processors (firmware-sps-04.01.04.423-1.1.x86_64)	◇	ファームウェア	推奨	詳細の参照	04.01.04.423	必須

それ以外のパッケージのここを、 選択 または  強制 に変更する。

(firmware-nic-intel-...) の文字列を含んでいるパッケージのここを、 選択済み または  強制 に変更する。

## B. ファームウェアの展開

ファームウェア(パッケージ)の選択が完了しましたら、「手順 2 レビュー」画面の最下部の「展開」をクリックします。



### [step.1-10] ファームウェア展開の完了待ち及び結果確認

#### A. ファームウェア展開の完了待ち

ファームウェアの展開が開始されると、下記「手順 3 展開」画面が表示されますので、全てのファームウェアの展開が完了するまで、しばらくお待ちください。




全てのファームウェアの展開が完了するまで、最大約 5 分ほどかかります。

#### B. ファームウェア展開の結果確認

全てのファームウェアの展開が完了すると、下記「手順 3 展開」画面の①箇所に、「展開が完了しました」、あるいは、「インストールはエラーで終了しました」と表示されます。

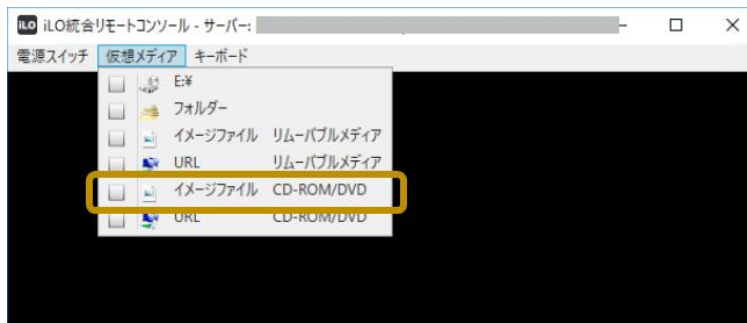


 「インストールはエラーで終了しました」(赤アイコン表示) と表示されても、そのまま以降の手順をおこなってください。

### C. Starter Pack のマウント解除

リモートコンソールにおいて、Starter Pack のマウントを解除します。  
具体的には、リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていないか否かを確認します。

もしチェック(レ点)が付いていれば、チェック(レ点)を外します。



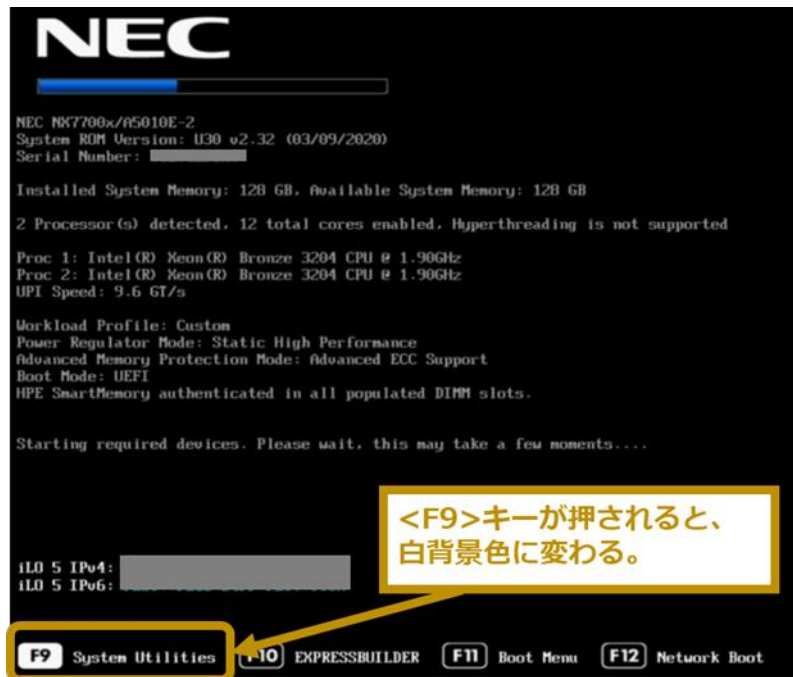
### D. 本体装置の再起動

下記「手順 3 展開」画面最下部の「再起動」(①)をクリックします。  
そうすると、「再起動」のポップアップ画面が表示されますので、「はい、再起動します」をクリックします。



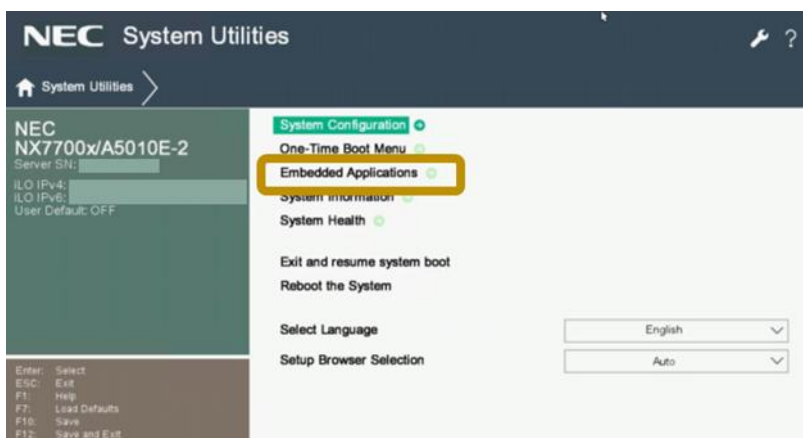
### [step.1-11] System Utilities の起動

再起動後、リモートコンソールが下記画面表示になったならば、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



### [step.1-12] UEFI Shell の起動

リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、「Embedded Applications」 → 「Embedded UEFI Shell」を選択します。



### [step.1-13] 本体装置の電源 OFF

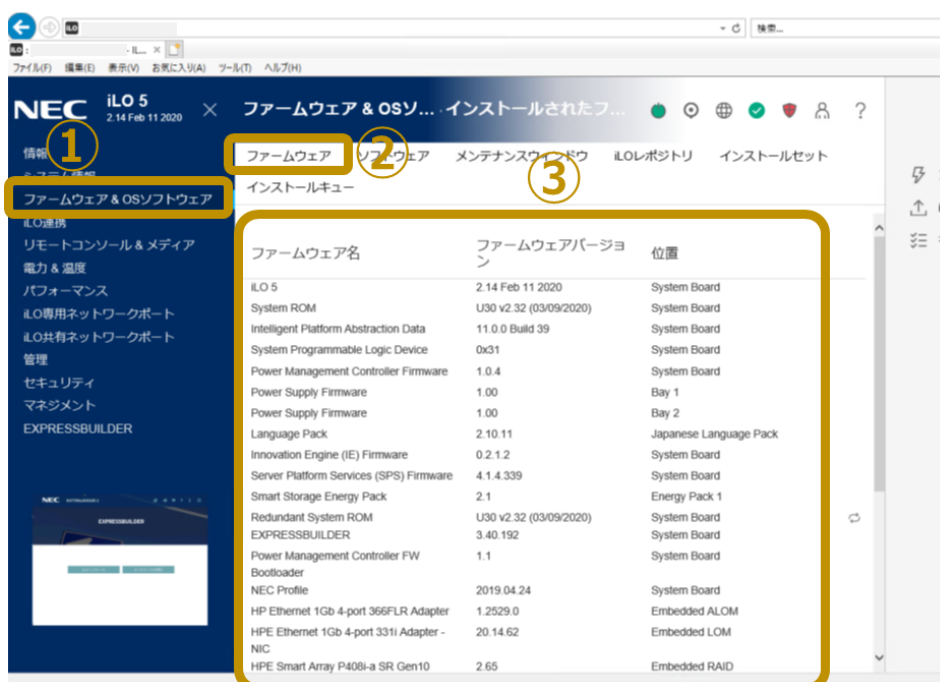
リモートコンソールにて UEFI Shell が起動したら、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```



### [step.1-14] ファームウェアバージョンの確認

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



ここでバージョンを確認するファームウェアは、下表記載のファームウェアです。

ファームウェア名 (*a)	期待ファームウェアバージョン	備考
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366FLR	1.3089.0	
HPE Ethernet 10Gb 2p 562FLR-T	10.55.3	
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+	10.57.2	
HPE Ethernet 1Gb 2-port 361T	1.3089.0	
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366T	1.3089.0	
HPE Ethernet 10Gb 2p 562T	10.55.3	
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+	10.57.2	

(\*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。

- 上表記載の全てのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンであるならば、以上で、対処作業は終了です。
- 上表記載のいずれかのファームウェアのバージョンが、上表「期待ファームウェアバージョン」欄に記載するバージョンでないならば、再度、前記<[step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン>からファームウェア更新を行ってください。



本体装置構成によっては表示されないファームウェアがあります。  
表示されないファームウェアは除外して、更新要否を判断してください。  
(表示されないファームウェアは期待ファームウェアバージョンであるとみなす)



ファームウェア更新を行う度に、少なくとも 1 つのデバイスのファームウェアは更新されます。

---

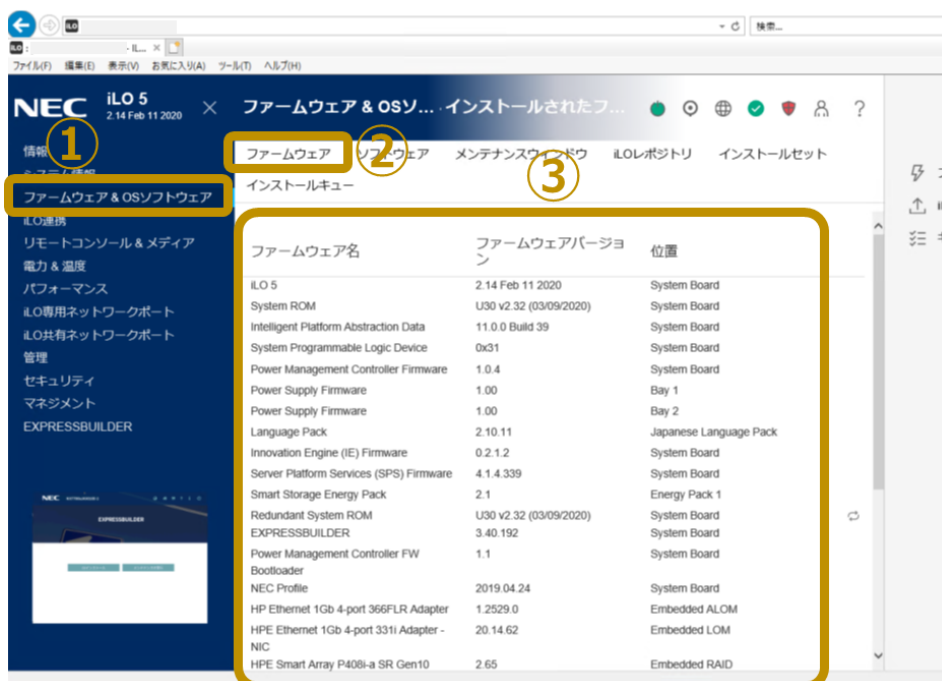
以上で、対処作業は終了です。

## 8. 付録

### 8.1. ファームウェアバージョン確認方法

#### 8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「ファームウェア & OS ソフトウェア」(①)をクリックし、「ファームウェア」タブ(②)をクリックします。そして、下図③箇所にて、各種ファームウェアバージョンを確認できます。



本書記載ファームウェア更新手順にて更新されるファームウェア名は下表の通りです。

ファームウェア名 (*a)	参考情報 (対応デバイス)	備考
System ROM Redundant System ROM	Mother Board (System ROM)	
Innovation Engine (IE) Firmware	Mother Board (IE)	
Server Platform Services (SPS) Firmware	Mother Board (SPS)	
iLO 5	Mother Board (iLO)	
Language Pack	Mother Board (language pack)	
HPE Smart Array P408i-a SR Gen10	RAID [NE3303-190]	(*01)
HPE Smart Array P816i-a SR Gen10	RAID [NE3303-191]	(*01)
HPE Smart Array P408i-p SR Gen10	RAID [NE3303-201]	(*01)
HPE Smart Array E208e-p SR Gen10	SAS [NE3303-197]	(*01)
Drive Enclosure 12G SAS Exp	SAS Expander [NE3316-51]	(*01), (*03)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i	NIC (1G, T) (*02)	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331FLR	NIC (1G, T) [NE3304-171]	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366FLR	NIC (1G, T) [NE3304-172]	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 2-port 332T	NIC (1G, T) [NE3304-178]	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 2-port 361T	NIC (1G, T) [NE3304-180]	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 331T	NIC (1G, T) [NE3304-179]	(*01)
HPE Ethernet 1Gb 4-port 366T	NIC (1G, T) [NE3304-181]	(*01)

HPE Ethernet 10Gb 2p 562FLR-T	NIC (10G, T)	[NE3304-175]	(*01)
HPE Ethernet 10Gb 2p 562T	NIC (10G, T)	[NE3304-184]	(*01)
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562FLR-SFP+	NIC (10G, SFP)	[NE3304-176]	(*01)
HPE Ethernet 10Gb 2-port 562SFP+	NIC (10G, SFP)	[NE3304-186]	(*01)
HPE SN1200E 16Gb 1p FC HBA	FC	[NE3390-163]	(*01)
HPE SN1200E 16Gb 2p FC HBA	FC	[NE3390-164]	(*01)
HPE SN1600E 32Gb 1p FC HBA	FC	[NE3390-171]	(*01)
HPE SN1600E 32Gb 2p FC HBA	FC	[NE3390-172]	(*01)
<p>(*a) 上図③箇所の「ファームウェア名」欄に表示される文字列の一部です。</p> <p>(*01) 本体装置構成によっては表示されない場合があります。</p> <p>(*02) [本体装置型番: NE3300-231Y, NE3300-232Y, NE3300-233Y, NE3300-234Y] の Mother Board 内蔵 NIC。</p> <p>(*03) 本体装置構成によって、いずれかのファームウェア名が表示されます。</p>			

## 8.2. リモートコンソール及び仮想メディア

### 8.2.1. .NET リモートコンソール (.NET IRC)の使い方

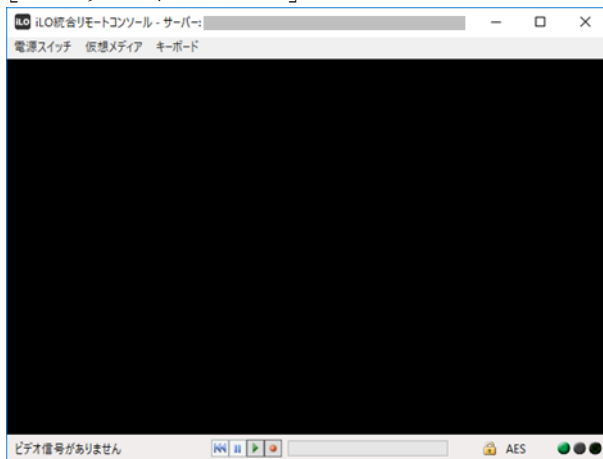
#### 8.2.1.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「.NET コンソール」ボタン(③)をクリックします。



.NET リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

[.NET リモートコンソール]

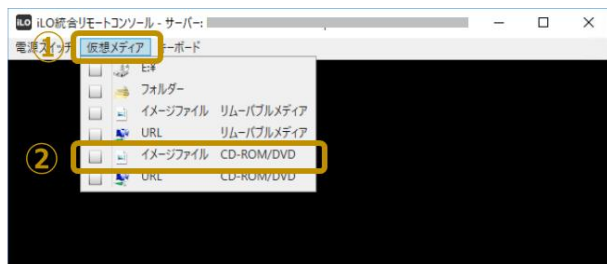


#### 8.2.1.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

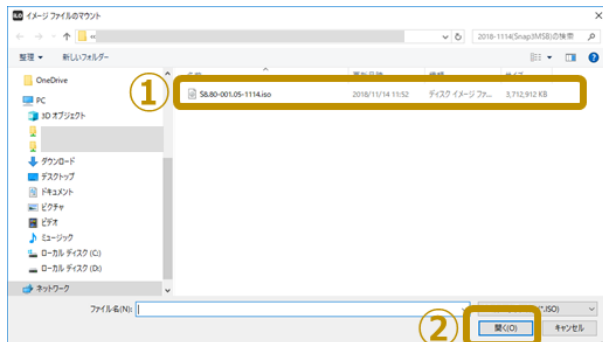
##### A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの[仮想メディア] → [イメージファイル CD-ROM/DVD]を選択します。



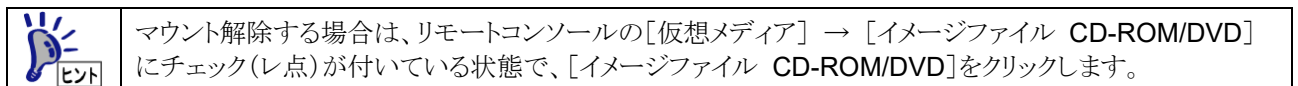
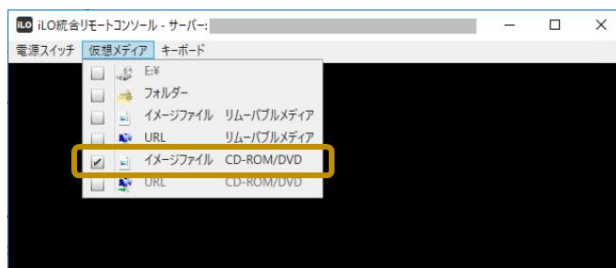
## B. iso ファイルのマウント

ポップアップ表示された「イメージファイルのマウント」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。



## C. iso ファイルのマウントの確認

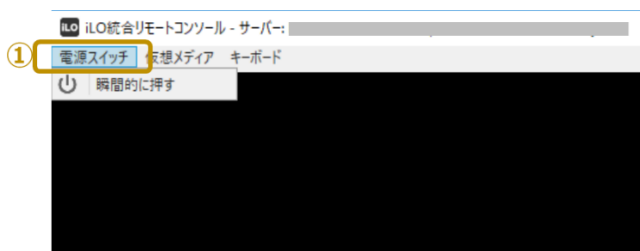
リモートコンソールの[仮想メディア]をクリックし、[イメージファイル CD-ROM/DVD]にチェック(レ点)が付いていることを確認します。



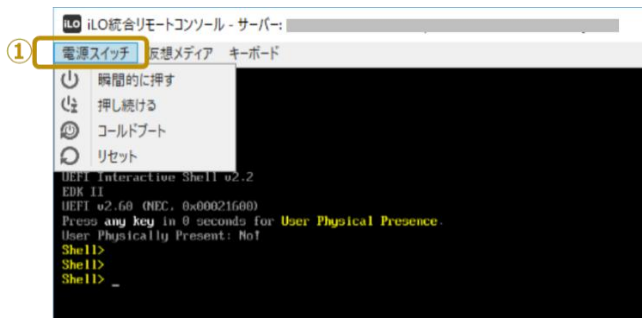
### 8.2.1.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの[電源スイッチ]をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬時的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬時的に押す	本体装置の電源を OFF しようとしています。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

## 8.2.2. HTML5 統合リモートコンソールの使い方

### 8.2.2.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「HTML5 コンソール」ボタン(③)をクリックします。



HTML5 リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

[HTML5 リモートコンソール]



### 8.2.2.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

#### A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD] → [ローカル \*.iso ファイル]を選択します。




## B. iso ファイルのマウント

ポップアップ表示された「アップロードするファイルの選択」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し①、「開く(O)」ボタン②をクリックします。



## C. iso ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD] にチェック (レ点) が付いていることを確認します。






ヒント

マウント解除する場合は、リモートコンソールの  をクリックし、[CD/DVD] → [メディアの強制取り出し] を選択します。



### 8.2.2.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの  をクリックし [電源] を選択すると電源操作メニューが表示されます。表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置 電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

## 8.2.3. Java 統合リモートコンソール (Java IRC) の使い方

### 8.2.3.1. コンソールの起動

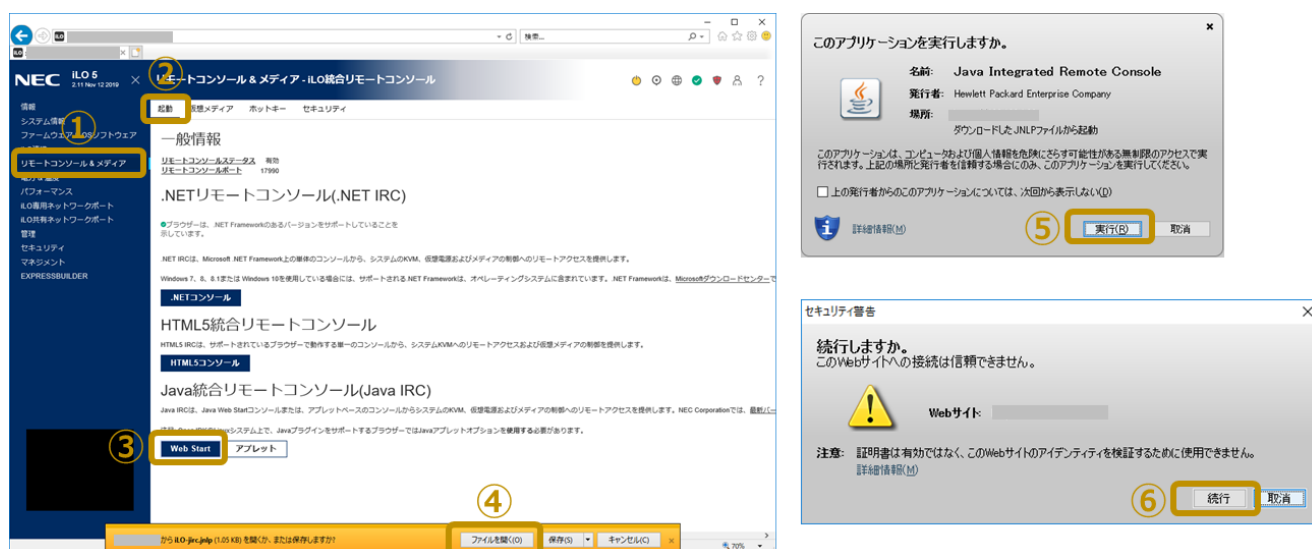
① iLO Web インターフェースのメニューフレームにて「リモートコンソール & メディア」(①)をクリックし、「起動」タブ(②)をクリックします。そして、「Web Start」ボタン(③)をクリックします。

④ 「…を開くか、または保存しますか？」とポップアップ表示されたならば、「ファイルを開く(O)」をクリックします。

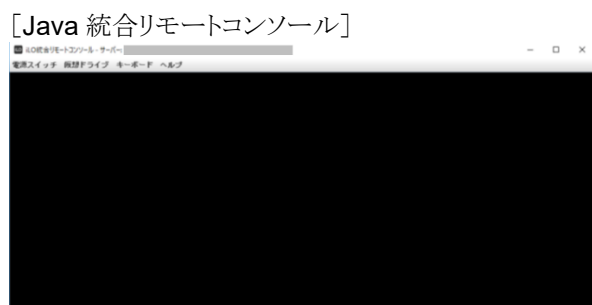
⑤ 「このアプリケーションを実行しますか。」とポップアップ表示されたならば、「実行(R)」をクリックします。

尚、この画面がポップアップ表示されるまで約1分ほどかかります。

⑥ セキュリティ警告画面がポップアップされたならば、「続行」をクリックします。



Java 統合リモートコンソールが起動できると、下図コンソールがポップアップ表示されます。

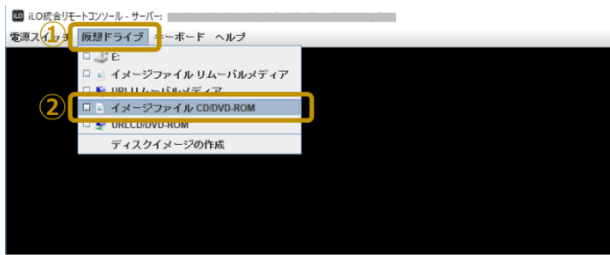


### 8.2.3.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

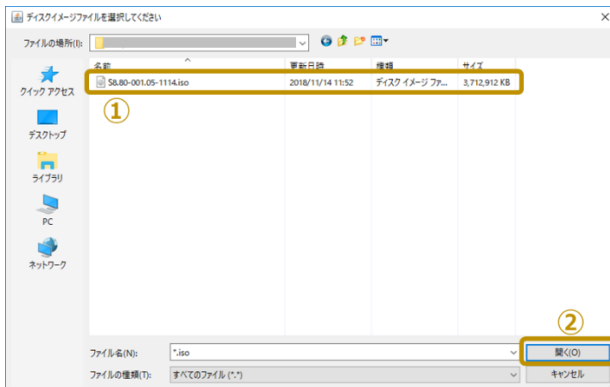
#### A. 仮想メディアの選択

リモートコンソールの[仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM]を選択します。



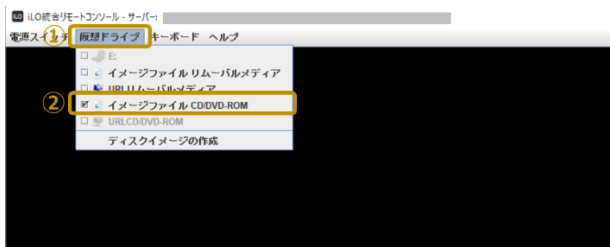
## B. iso ファイルのマウント


ポップアップ表示された「ディスクイメージファイルを選択してください」ダイアログにて、端末パソコン内に収納している iso ファイルを選択し(①)、「開く(O)」ボタン(②)をクリックします。



## C. iso ファイルのマウントの確認

リモートコンソールの [仮想ドライブ] をクリックし、[イメージファイル CD/DVD-ROM] にチェック(レ点)が付いていることを確認します。

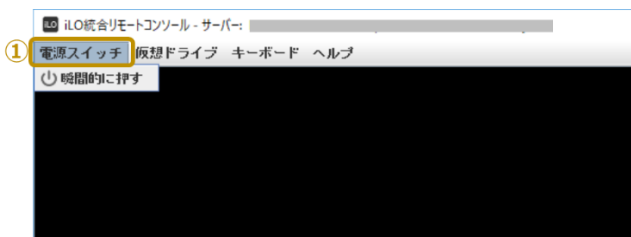


 ヒント	マウント解除する場合は、リモートコンソールの [仮想ドライブ] → [イメージファイル CD/DVD-ROM] にチェック(レ点)が付いている状態で、[イメージファイル CD/DVD-ROM] をクリックします。
--	--

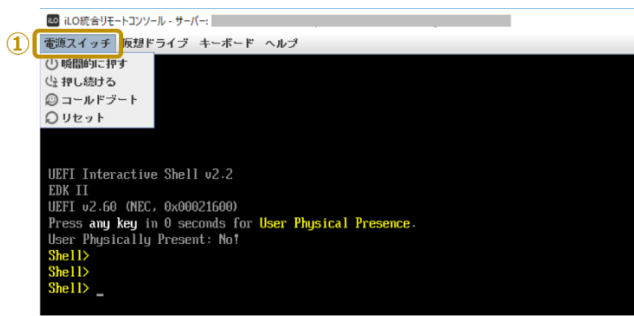
## 8.2.3.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソールの [電源スイッチ] をクリックすると、電源操作メニューが表示されます。表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置 電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	瞬間的に押す	本体装置の電源を ON します。
ON	瞬間的に押す	本体装置の電源を OFF しようとします。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	押し続ける	本体装置の電源を強制的に OFF します。 その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	コールドブート	本体装置を再起動します。
	リセット	本体装置を再起動します。

NEC NX7700x シリーズ

NX7700x/A5010E-2 シリーズ  
ファームウェア更新ガイド  
(オフライン版、Starter Pack 利用)

2026 年 1 月 第 14 版

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2020-2026

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。